インターネット論文術M　授業計画

科目名	総合科目 Ⅰ～Ⅵ	単位
担当教員名	小笠原　喜康	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば，何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	ガイダンス		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月25日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	本の紹介	
		1-2	論文してはならない3原則	
第2章	リポートの書き方①	2-1	原稿用紙の使い方	
		2-2	資料の調べ方・探し方	
第3章	リポートの書き方②	3-1	「辞典・事典・用語集」で言葉集め	
		3-2	読んでもらうためのリポートの構造	
理解度チェック1				
第4章	中身よりみた目		導入	○学習期間 4章～8章　10月26日～11月14日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	レイアウトと表記法	
		4-2	見た目の文章配置	
第5章	わかりやすい文章3原則	5-1	無限半切の原則	
		5-2	重複禁止の原則	
		5-3	執拗通読の原則	
		5-4	まとめ	
第6章	文献・資料の集め方①	6-1	文献や資料の集め方	
		6-2	文献検索法	
		6-3	価値ある文献の見極め方	
第7章	文献・資料の集め方②	7-1	Amazonのサイトで検索	
		7-2	GeNiiのサイトで検索	
		7-3	国立国会図書館のサイトで検索	
		7-4	NACSIS Webcatのサイトで検索	
		7-5	その他のサイトで検索	
第8章	文献や資料の整理法	8-1	文献や資料の整理法	
		8-2	ノートよりもカード	
		8-3	重要なデータは分散して保存	
理解度チェック2				
第9章	論文（卒論）の執筆手順		導入	○学習期間 9章～10章　11月15日～11月29日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月29日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-1	卒論執筆計画の立て方	
		9-2	論構成と章構成の方策	
第10章	注釈・引用・参考文献の示し方	10-1	近年型による引用文・注釈の示し方	
		10-2	注釈と引用・参考文献の章末・巻末での表記	
理解度チェック3				
第11章	論文論（よい論文とは）		導入	○学習期間 11章～12章の学習期間は11月30日～12月13日までとなっております。
		11-1	よい文の3原則	
		11-2	わかりやすい文の書き方	
		11-3	よい論文の3原則	
第12章	瀬戸際のテクニック	12-1	締め切りまでに書く	
		12-2	書式・論構成のテクニック	
		12-3	「あいまいさ」を求めて	
		12-4	大学で学ぶ意味	
試験				○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると解答ができなくなります。

日本大学を学ぶ～その120年の歴史～M　メディア授業計画

科目名	総合科目Ⅰ～Ⅵ	単位
担当教員名	鍋本　由徳	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば，何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	本講義を学習するにあたって		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月20日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月20日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	本講義のねらいと各章の構成	
		1-2	日本大学の特色	
		1-3	日本大学の現況	
			自己点検	
第2章	日本大学120年の歩み　Ⅰ		導入	
		2-1	創立前後	
		2-2	専門学校の認可	
		2-3	大学令による大学に	
		2-4	総合大学への礎	
		2-5	創立50年と太平洋戦争	
			自己点検	
第3章	日本大学120年の歩み　Ⅱ		導入	
		3-1	戦後教育改革と日本大学	
		3-2	新制日本大学の発足	
		3-3	高度経済成長と日本大学	
		3-4	高学歴社会と日本大学	
		3-5	国際化・情報化時代の日本大学	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	日本法律学校の誕生		導入	○学習期間 4章～6章　10月21日～11月3日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	日本の近代化と法典整備	
		4-2	近代法教育の開始	
		4-3	日本法律学校の創立	
		4-4	創立に携わった人々ー学祖と創立者ー	
			自己点検	
第5章	明治期の学園風景		導入	
		5-1	創立期の学園生活	
		5-2	山田顕義の死去と廃校問題	
		5-3	独立校舎　日本大学への改称	
			自己点検	
第6章	大学令と日本大学		導入	
		6-1	大学令の公布と日本大学	
		6-2	教育組織の整備拡充	
		6-3	関東大震災と復興への努力	
		6-4	日本大学と学生	
			自己点検	
理解度チェック2				
第7章	戦時体制下の学徒		導入	○学習期間 7章～9章　11月4日～11月17日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	報国団と勤労動員	
		7-2	学び舎からの出征	
			自己点検	
第8章	第8章　高度経済成長と大学の大衆化		導入	
		8-1	日本大学振興策の推進	
		8-2	学生の動向	
			自己点検	
第9章	大学紛争とその後の日本大学		導入	
		9-1	日大紛争	
		9-2	紛争後の学園生活	
			自己点検	
理解度チェック3				
第10章	日本大学とスポーツ・文化活動		導入	○学習期間 10章～12章　11月18日～12月1日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月1日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	日本大学と体育・スポーツ活動	
		10-2	特色ある日大スポーツ	
		10-3	日本大学と文化活動	
			自己点検	
第11章	活躍する日大人		導入	
		11-1	独学者に法曹の道を開いた澤野民治	
		11-2	歯科医学界の先覚者　佐藤運雄	
		11-3	日本航空界の父　木村秀政	
		11-4	地球再発見による人間性の回復へ　写真家白川義員	
			自己点検	
第12章	通信教育部の歩み		導入	
		12-1	明治・大正期の通信教育	
		12-2	通信教育部の創設	
		12-3	通信教育の整備・拡充	
		12-4	おわりに	
			自己点検	
理解度チェック4				
試験				○試験 最終試験は12月2日～12月8日までが，出題および解答期間となっています。これを過ぎると解答ができなくなります。
復習期間				試験終了後の12月9日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

歴史学 MB 授業計画

科目名	歴史学 MB
開講単位数	2単位
担当教員名	渡邊　浩史 馬渕　彰 鍋本　由徳 藤井　信行

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

担当	章番号	章名	項番号	項名	受講期間
		表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
	導入（教員紹介）	講座概要説明　教員紹介		歴史学入門	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月21日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
渡邊先生	1～3章導入			（導入）イントロダクション	
	第1章	安倍晴明		導入	
			1-1	安倍晴明の実像と伝説形成	
			1-2	花山天皇	
			1-3	安倍晴明と花山天皇	
	第2章	一遍		導入	
			2-1	賦算	
			2-2	浄土教の聖地四天王寺	
			2-3	高野山	
			2-4	熊野	
	第3章	紀伊国牟婁郡の悪女 ―「安珍・清姫」物語の原型と熊野―		導入	
			3-1	『道成寺縁起絵巻』	
			3-2	『道成寺縁起絵巻』の成立と原型	
			3-3	『道成寺縁起絵巻』と他界	
			3-4	おわりに	
	理解度チェック1				
馬渕先生	4～6章導入			（導入）イントロダクション	○学習期間 4章～6章　10月22日～11月4日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月4日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
	第4章	ジョン・ウェスレー牧師 ―一大宗教運動の産みの親―		導入	
			4-1	聖職者、かつ大学教師ウェスレーの誕生	
			4-2	信仰理解への懐疑、失恋、そして失意のどん底へ	
			4-3	挫折から立ち直るその瞬間	
			4-4	ウェスレーに群がる人々	
			4-5	ネットワークの拡大・充実	
			4-6	より良い聖なる社会をも目指して	
	第5章	E.アレヴィ博士 ―イギリスとそのキリスト教に魅了されたフランス人学者―		導入	
			5-1	哲学者アレヴィの誕生	
			5-2	イギリス社会の安定は、なぜ・・・？	
			5-3	謎解きのカギはメソジスト派か	
			5-4	ついに発見、これこそイギリス社会安定の歴史的メカ	
			5-5	多くの学者を揺すぶったアレヴィのインパクト	
	第6章	ジョセフ・レイナー・スティーブンズ牧師 ―心の革新を追い求めた労働運動家―		導入	
			6-1	メソジスト派牧師スティーブンズの誕生	
			6-2	北部工業地帯の貧しい人々の家庭を守るのだ！	
			6-3	労働者よ、武器を取れ！	
			6-4	メソジスト派よ、ウェスレーの精神に立ち返れ！	
			6-5	メソジスト派の社会的影響とは	
	理解度チェック2				
鍋本先生	7～9章導入			（導入）イントロダクション	○学習期間 7章～9章　11月5日～11月18日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月18日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
	第7章	徳川吉宗 ―全国統治者の意識―		導入	
			7-1	徳川吉宗	
			7-2	紀州藩主就任と藩主の課題	
			7-3	将軍就任と幕府の課題	
			7-4	「日本」という国家	
			7-5	まとめ	
	第8章	大岡忠相 ―その実像と虚像―		導入	
			8-1	大岡忠相の略歴	
			8-2	町奉行大岡忠相	
			8-3	大岡忠相の農村支配	
			8-4	享保期前後の農村	
			8-5	創られた大岡忠相	
	第9章	田中休愚 ―庶民に捧げた一生―		導入	
			9-1	田中休愚の略歴	
			9-2	休愚の知識欲	
			9-3	『民間省要』の上覧	
			9-4	定免法への考え方	
			9-5	休愚の普請御用	
	理解度チェック3				
藤井先生	10～12章導入			（導入）イントロダクション	○学習期間 10章～12章　11月19日～12月2日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
	第10章	オーストリア：エーレンタール外相（1906～12）とベルヒトルト外相（1912～15） ―攻撃的外交政策とヨーロッパ協調の破壊―		導入	
			10-1	ボスニア危機とエーレンタール外相	
			10-2	バルカン戦争とヨーロッパ協調の破壊	
			10-3	サライェボ事件とベルヒトルト外相	
	第11章	ドイツ：　カイザー・ヴィルヘルム二世 ―二正面戦争とヨーロッパ大陸戦争―		導入	
			11-1	開戦原因論と研究史の整理	
			11-2	シュリーフェン・プランとドイツの宣戦布告	
			11-3	ヨーロッパ大陸での覇権と二正面作戦	
			11-4	ヨーロッパの安定の破壊	
	第12章	イギリス：グレイ外相（1905～16年） ―ロシア・フランスとの協調と対ドイツ宣戦―		導入	
			12-1	グレイ外相とイギリス外交政策	
			12-2	バルカン問題とイギリスの不介入	
			12-3	帝国の防衛	
			12-4	ロシア・フランスとの協調	
	理解度チェック4				
試験					○試験 最終試験は12月3日～12月9日までが，出題および解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間					試験終了後の12月10日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

法学 MB 授業計画

科目名	法学 MB
開講単位数	2単位
担当 教員名	船山　泰範 松島　雪江

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
	講座概要説明　教員紹介		法学の扉を開く	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月21日までに学習及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
第1章	法の様態・法の変容		導入	
		1-1	公法・私法	
		1-2	近代市民法の原則	
		1-3	社会法の登場	
第2章	現代法の機能		導入	
		2-1	法規範の役割	
		2-2	法の機能	
		2-3	現代法の特質	
第3章	法的パターナリズム		導入	
		3-1	法による道徳の強制	
		3-2	法化社会	
	理解度チェック1			
第4章	裁判の機能		導入	○学習期間 4章～6章　10月22日～11月4日までに学習及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月4日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	裁判の仕組み	
		4-2	裁判の経過とその効果	
		4-3	裁判外の紛争解決手段	
		4-4	現代型裁判とその効果	
第5章	ジェンダーと法		導入	
		5-1	ジェンダーとは何か	
		5-2	どうして法にジェンダーの視点が必要なのか	
		5-3	ジェンダーにかかわる法の諸問題	
第6章	正義と法		導入	
		6-1	法の目的	
		6-2	様々な正義論	
		6-3	現代正義論	
	理解度チェック2			
第7章	尊厳死と安楽死 ―安楽死・尊厳死を考える		導入	○学習期間 7章～9章　11月5日～11月18日までに学習及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は11月18日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	「海を飛ぶ夢」が訴えていること	
		7-2	安楽死と尊厳死とのちがい	
		7-3	尊厳死	
第8章	疑わしきは罰せず ―冤罪はなぜおきる		導入	
		8-1	疑わしきは罰せず」の原則があるのに？	
		8-2	完全冤罪と部分冤罪	
		8-3	刑法の解釈が死刑選択を左右する	
		8-4	法律の中の宝物	
第9章	少年にとって法とは何なのか ―少年法から他の法を眺める		導入	
		9-1	少年非行の現状	
		9-2	少年法は特別法	
		9-3	少年法から他の法を眺める	
		9-4	少年にとって法は何か	
	理解度チェック3			
第10章	内容証明を書く ―消費者保護		導入	○学習期間 10章～12章　11月19日～12月2日までに学習及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は12月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	証拠を作る	
		10-2	クーリング・オフ制度	
		10-3	契約自由の原則の変遷	
第11章	遺言書を書く ―トラブルを防ぐために		導入	
		11-1	法律学は予防の学問	
		11-2	遺言書がないときの相続	
		11-3	遺言書はオールマイティーか	
		11-4	相続する側の都合も考える	
		11-5	予防学の前提	
第12章	国民参加の法律学 ―裁判員制度は希望の光か		導入	
		12-1	なぜ司法に国民参加は遅れているのか	
		12-2	司法への国民参加のさまざま	
		12-3	裁判員制度の意味	
		12-4	刑事政策の国民参加	
	理解度チェック4			
試験				○「試験」 最終試験は１２月３日～１２月９日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の１２月１０日～１２月１３日の間は全章の復習期間にしてください。

政治学MB　メディア授業計画

科目名	政治学 MB	単位
担当教員名	関根　二三夫	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば，何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	立憲民主制の統治形態		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月24日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月24日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	直接民主制と会議制	
		1-2	議院内閣制と内閣統治制	
		1-3	大統領制と執行府制	
			自己点検	
第2章	権力分立と統治機構		導入	
		2-1	権力分立の理論	
		2-2	アメリカの大統領制と権力分立	
		2-3	日本の議院内閣制と権力分立	
			自己点検	
第3章	議会政治と統治機構		導入	
		3-1	議会政治の原理	
		3-2	議会の構成	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	わが国の統治機構―立法府（1）		導入	○学習期間 4章～5章　10月25日～11月7日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月7日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	国会の地位	
		4-2	国会の組織	
		4-3	国会の会期	
			自己点検	
第5章	わが国の統治機構―立法府（2）		導入	
		5-1	国会の機能	
		5-2	国会議員の地位と特権	
			自己点検	
理解度チェック2				
第6章	わが国の統治機構―行政府（1）		導入	○学習期間 6章～8章　11月8日～11月21日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		6-1	行政の概念	
		6-2	憲法制定過程における行政権帰属論争	
			自己点検	
第7章	わが国の統治機構―行政府（2）		導入	
		7-1	内閣の組織	
		7-2	内閣総理大臣の権能	
		7-3	内閣の総辞職	
			自己点検	
第8章	わが国の統治機構―行政府（3）		導入	
		8-1	内閣の権能―憲法第73条に掲げられた事務	
		8-2	内閣の責任	
			自己点検	
理解度チェック3				
第9章	わが国の統治機構―司法府（1）		導入	○学習期間 9章～12章　11月22日～12月5日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月5日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-1	司法権の概念	
		9-2	司法権の独立	
			自己点検	
第10章	わが国の統治機構―司法府（2）		導入	
		10-1	裁判所の構成	
		10-2	裁判所の権能	
			自己点検	
第11章	わが国の統治機構―司法府（3）		導入	
		11-1	司法の民主的統制	
		11-2	違憲審査権	
			自己点検	
第12章	アメリカ合衆国の大統領拒否権と議会拒否権		導入	
		12-1	大統領拒否権	
		12-2	議会拒否権	
			自己点検	
理解度チェック4				
試験				○試験 最終試験は12月6日～12月12日までが，出題および解答期間となっています。これを過ぎると解答ができなくなります。
復習期間				試験終了後の12月13日は全章の復習期間にしてください。

経済学MB　メディア授業計画

科目名	経済学 MB	単位
担当教員名	田村　和彦	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	経済学とは何か		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月20日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月20日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	経済学とはどんな学問か	
		1-2	経済現象と稀少性の法則	
第2章	経済学の研究の進め方		導入	
		2-1	経済学の方法	
		2-2	経済学の分野	
第3章	資本主義経済と社会主義経済		導入	
		3-1	経済学の方法	
		3-2	混合経済	
理解度チェック1				
第4章	貨幣について		導入	○学習期間 4章～6章　10月21日～11月3日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	貨幣とは何か	
		4-2	貨幣についての考え方	
		4-3	貨幣の機能	
		4-4	貨幣制度	
		4-5	人々はなぜ貨幣を保有しようとするのか？	
		4-6	変化しつつある貨幣のすがた	
		4-7	まとめ	
第5章	金融について		導入	
		5-1	金融の定義	
		5-2	金融取引について	
		5-3	金融機関について	
		5-4	金融政策について	
		5-5	変化しつつある金融	
		5-6	まとめ	
第6章	マクロ経済学		導入	
		6-1	マクロ経済学の定義	
		6-2	国民経済の循環	
理解度チェック2				
第7章	国民所得概念		導入	○学習期間 7章～9章　11月4日～11月17日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	国民資本と国民所得	
		7-2	国民所得の定義	
		7-3	国民所得の計算	
		7-4	グローバル化・経済のサービス化の進展による概念の変化	
		7-5	三面等価の原則	
第8章	産業部門間の循環		導入	
		8-1	経済表	
		8-2	産業連関表	
		8-3	再生産表式論	
第9章	ケインズ型消費関数		導入	
		9-1	議論の限定	
		9-2	ケインズ型消費関数	
		9-3	グラフの意味	
		9-4	消費性向と貯蓄性向	
理解度チェック3				
第10章	国民所得の決定		導入	○学習期間 10章～12章　11月18日～12月1日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月1日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	投資の存在について	
		10-2	投資乗数	
第11章	景気循環		導入	
		11-1	景気循環の定義	
		11-2	景気循環の様相	
		11-3	景気循環の分類	
第12章	経済政策		導入	
		12-1	経済と経済政策	
		12-2	政府の役割	
		12-3	大きな政府か，小さな政府か	
		12-4	課題	
		12-5	まとめ	
理解度チェック4				
試験				○試験 最終試験は12月2日～12月8日までが，出題および解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月9日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

心理学MB　メディア授業計画

科目名	心理学 MB	単位
担当教員名	吉野　大輔	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	意識		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月20日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月20日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	意識とは	
		1-2	無意識	
		1-3	睡眠	
		1-4	瞑想	
		1-5	催眠	
			自己点検	
第2章	学習		導入	
		2-1	学習とは	
		2-2	学習の理論	
		2-3	行動主義的連合理論	
		2-4	認知―体制化理論	
			自己点検	
第3章	動機づけ		導入	
		3-1	動機づけの理論	
		3-2	誘因と動機づけ	
		3-3	ホメオスタシスと動因	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	情動1		導入	○学習期間 4章～6章　10月21日～11月3日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	情動とは	
		4-2	認知的評価と情動	
			自己点検	
第5章	情動2	5-1	主観的経験と情動	
		5-2	思考=行動傾向	
		5-3	情動と認知	
		5-4	身体的変化と情動	
		5-5	情動に対する反応：情動調整	
			自己点検	
第6章	情動3	6-1	表情と情動	
		6-2	表情の基本的カテゴリー	
		6-3	生理学的要因との関係	
		6-4	文化差	
		6-5	表情と社会的相互作用	
		6-6	顔面フィードバック効果	
			自己点検	
理解度チェック2				
第7章	知能		導入	○学習期間 7章～9章　11月4日～11月17日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	知的能力の測定	
		7-2	最近の知能理論	
			自己点検	
第8章	パーソナリティ　1		導入	
		8-1	パーソナリティの測定：特性論的アプローチ	
		8-2	精神分析的アプローチ	
			自己点検	
第9章	パーソナリティ　2	9-1	行動主義的アプローチ	
		9-2	認知的アプローチ	
		9-3	人間性アプローチ	
			自己点検	
理解度チェック3				
第10章	社会的影響		導入	○学習期間 10章～12章　11月18日から12月1日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月1日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	他者の存在	
		10-2	同調	
		10-3	権威への服従	
			自己点検	
第11章	ストレス，健康，コーピング		導入	
		11-1	ストレスの定義	
		11-2	ストレスとなる出来事の特徴	
		11-3	ストレスに対する心理的反応	
		11-4	コーピング	
			自己点検	
第12章	心の病		導入	
		12-1	異常の定義	
		12-2	異常行動の分類	
		12-3	不安定障害	
		12-4	気分障害	
		12-5	統合失調症	
			自己点検	
理解度チェック4				
試　　験				○「試験」 最終試験は12月2日～12月8日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月9日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

英語Ⅰ MB 授業計画

科目名	英語Ⅰ MB
開講単位数	1単位
担当教員名	猪野　恵也

※理解度チェック（報告課題）及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，報告課題は期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
Part1	The Little Willow 読解(1)		導入	○学習期間 Part1～Part6　10月5日～11月4日までに学習及び「報告課題1」を提出してください。 ○報告課題1 解答期限は11月4日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	読解	
Part2	The Little Willow 読解(2)		導入	
		2-1	読解	
Part3	The Little Willow 読解(3)		導入	
		3-1	読解	
Part4	The Little Willow 読解(4)		導入	
		4-1	読解	
Part5	The Little Willow 読解(5)		導入	
		5-1	読解	
Part6	The Little Willow 読解(6)		導入	
		6-1	読解	
	報告課題1			
Part7	The Little Willow 読解(7)		導入	○学習期間 Part7～Part12　11月5日～12月9日までに学習及び「報告課題2」を提出してください。 ○報告課題2 解答期限は12月9日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	読解	
Part8	The Little Willow 読解(8)		導入	
		8-1	読解	
Part9	The Little Willow 読解(9)		導入	
		9-1	読解	
Part10	The Little Willow 読解(10)		導入	
		10-1	読解	
Part11	The Little Willow 読解(11)		導入	
		11-1	読解	
Part12	The Little Willow 読解(12)		導入	
		12-1	読解	
	報告課題2			
復習期間				12月10日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

英語ⅡMB　メディア授業計画

科目名	英語Ⅱ　MB	単位
担当教員名	鈴木　孝	1

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば，何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
Part1	テキスト　29ページ 1行目から30ページ 5行目まで		導入	○学習期間 1章～4章　10月5日～10月24日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月24日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	関係詞・他	
		1-2	分詞の用法・他	
		1-3	接続詞・他	
		1-4	to 原形動詞の用法・他	
			自己点検	
Part2	テキスト　30ページ 6行目から31ページ21行目まで		導入	
		2-1	接続詞の用法・他	
		2-2	to 原形動詞の用法	
		2-3	it　の用法・他	
		2-4	知覚動詞・他	
			自己点検	
Part3	テキスト　31ページ22行目から32ページ28行目まで		導入	
		3-1	that の用法・他	
		3-2	前置詞・他	
		3-3	to 原形動詞の用法	
		3-4	文型・他	
			自己点検	
Part4	テキスト　33ページ 1行目から34ページ11行目まで		導入	
		4-1	文型・他	
		4-2	分詞の用法・他	
		4-3	自動詞と他動詞・他	
		4-4	関係詞・他	
			自己点検	
理解度チェック1				
Part5	テキスト　34ページ12行目から35ページ24行目まで		導入	○学習期間 5章～7章　10月25日～11月7日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月7日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	it　の用法・他	
		5-2	関係詞・他	
		5-3	分詞の用法・他	
		5-4	比較・他	
			自己点検	
Part6	テキスト　35ページ25行目から37ページ11行目まで		導入	
		6-1	分詞の用法・他	
		6-2	仮定法・他	
		6-3	分詞の用法・他	
		6-4	関係詞・他	
			自己点検	
Part7	テキスト　37ページ12行目から39ページ 4行目まで		導入	
		7-1	to 原形動詞・他	
		7-2	等位接続詞・他	
		7-3	知覚動詞・他	
		7-4	that の用法・他	
			自己点検	
理解度チェック2				
Part8	テキスト　39ページ 5行目から40ページ19行目まで		導入	○学習期間 8章～10章　11月8日～11月21日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は11月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	代名詞・他	
		8-2	to 原形動詞の用法	
		8-3	関係詞・他	
		8-4	分詞の用法・他	
			自己点検	
Part9	テキスト　40ページ20行目から42ページ 7行目まで		導入	
		9-1	to 原形動詞・他	
		9-2	分詞の用法・他	
		9-3	文型・他	
		9-4	it の用法・他	
			自己点検	
Part10	テキスト　42ページ 9行目から43ページ26行目まで		導入	
		10-1	分詞の用法・他	
		10-2	形容詞句と副詞句・他	
		10-3	関係詞・他	
		10-4	分詞の用法・他	
			自己点検	
理解度チェック3				
Part11	テキスト　43ページ27行目から45ページ 3行目まで		導入	○学習期間 11章～12章　11月22日～12月5日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○「理解度チェック4」 解答期限は12月5日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	接続詞の用法・他	
		11-2	関係詞・他	
		11-3	接続詞の用法・他	
		11-4	倒置・他	
			自己点検	
Part12	テキスト　45ページ 4行目から46ページ11行目まで		導入	
		12-1	that の用法・他	
		12-2	代名詞・他	
		12-3	強調・他	
		12-4	仮定法・他	
			自己点検	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 最終試験は12月6日～12月12日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月13日は全章の復習期間にしてください。

英語Ⅲ MB 授業計画

科目名	英語Ⅲ	単位
担当教員名	真野　一雄	1

※理解度チェック（報告課題）及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート，１２章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，報告課題は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
Part1	Leaf by Niggle(1)		導入	○学習期間 Part1～Part6　１０月５日～１１月７日までに学習及び「報告課題１」を提出してください。 ○報告課題１ 解答期限は１１月７日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	読解	
Part2	Leaf by Niggle(2)		導入	
		2-1	読解	
Par3	Leaf by Niggle(3)		導入	
		3-1	読解	
Par4	Leaf by Niggle(4)		導入	
		4-1	読解	
Part5	Leaf by Niggle(5)		導入	
		5-1	読解	
Part6	Leaf by Niggle(6)		導入	
		6-1	読解	
報告課題1				
Part7	Leaf by Niggle(7)		導入	○学習期間 Part7～Part12　１１月８日～１２月１２日までに学習及び「報告課題２」を提出してください。 ○報告課題２ 解答期限は１２月１２日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	読解	
Part8	Leaf by Niggle(8)		導入	
		8-1	読解	
Part9	Leaf by Niggle(9)		導入	
		9-1	読解	
Part10	Leaf by Niggle(10)		導入	
		10-1	読解	
Part11	Leaf by Niggle(11)		導入	
		11-1	読解	
Part12	Leaf by Niggle(12)		導入	
		12-1	読解	
報告課題2				
復習期間				課題提出後の１２月１３日は全章の復習期間です。

英語ⅣMB　メディア授業計画

科目名	英語Ⅳ MB	単位
担当教員名	市川　泰弘	1

※理解度チェック（報告課題）及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，報告課題は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	Making the Perfect Cup of Coffee(1)		導入	○学習期間 第1章～第6章　10月5日～11月3日までに学習及び「報告課題1」を提出してください。 ○報告課題1 解答期限は11月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	間違いやすい名詞の使い方[1]	
第2章	Making the Perfect Cup of Coffee(2)	2-1	指示を与えるパラグラフの書き方：過程と順序を知る	
第3章	The Statue of Liberty(1)		導入	
		3-1	間違いやすい名詞の使い方[2]	
第4章	The Statue of Liberty(2)	4-1	描写をするパラグラフの書き方：人や物を描写する	
第5章	Opinion(1)		導入	
		5-1	間違いやすい形容詞の使い方[1]	
第6章	Opinion(2)	6-1	主張を述べるパラグラフの書き方：主張を述べ，展開する	
報告課題1				
第7章	English Language Newspapers(1)		導入	○学習期間 第7章～第12章　11月4日～12月8日までに学習及び「報告課題2」を提出してください。 ○報告課題2 解答期限は12月8日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	間違いやすい形容詞の使い方[2]	
第8章	English Language Newspapers(2)	8-1	比較と対照を使ったパラグラフの書き方	
第9章	Managing Stress(1)		導入	
		9-1	間違いやすい副詞の使い方	
第10章	Managing Stress(2)	10-1	原因と結果についてのパラグラフの書き方	
第11章	Writing Personal and Business Letters(1)		導入	
		11-1	その他の間違いやすい表現	
第12章	Writing Personal and Business Letters(2)	12-1	私信とビジネス・レターの書き方	
報告課題2				
復習期間				課題提出後の12月9日～12月13日は全章の復習期間です。

憲法 MB 授業計画

科目名	憲法	単位
担当教員名	名雪　健二	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	国会－1		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月20日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月20日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	国会の性格	
		1-2	国会の組織	
第2章	国会―2		導入	
		2-1	国会議員の地位	
		2-2	国会議員の特典	
第3章	国会―3		導入	
		3-1	国会議員の権能	
		3-2	国会の活動	
	理解度チェック1			
第4章	国会―4		導入	○学習期間 4章～6章　10月21日～11月3日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	国会の権能	
		4-2	議院の権能	
第5章	内閣―1		導入	
		5-1	内閣の性格	
		5-2	内閣の組織	
第6章	内閣―2		導入	
		6-1	内閣の総辞職	
		6-2	内閣の権能	
		6-3	内閣の意思決定	
		6-4	内閣の責任	
	理解度チェック2			
第7章	裁判所―1		導入	○学習期間 7章～9章　11月4日～11月17日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	裁判所の性格	
第8章	裁判所―2		導入	
		8-1	最高裁判所	
		8-2	最高裁判所の権能	
		8-3	違憲審査権	
		8-4	最高裁判所の審理及び裁判	
第9章	裁判所―3		導入	
		9-1	下級裁判所	
		9-2	司法権の独立	
		9-3	裁判の公開	
	理解度チェック3			
第10章	財政		導入	○学習期間 10章～12章　11月18日～12月1日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月1日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	財政に関する原則	
		10-2	予算	
		10-3	予算執行の監督	
第11章	地方自治		導入	
		11-1	地方自治の概念	
		11-2	地方自治の基本原理	
		11-3	地方公共団体	
		11-4	地方公共団体の権能	
		11-5	地方自治特別法	
第12章	憲法改正		導入	
		12-1	憲法改正の概念	
		12-2	憲法改正の手続	
		12-3	憲法改正の限界	
	理解度チェック4			
試験				○試験 最終試験は12月2日～12月8日までが，出題および解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月9日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

民法ＩMB　メディア授業計画

科目名	民法Ｉ	単位
担当教員名	根本　晋一	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	民法学習の前提		導入　ー社会生活と法ー	○学修期間 1章～3章　10月5日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	法の役割　ー自力救済の禁止・紛争解決規範・行為規範・裁判規範など一	
		1-2	公法　ー国家と私人の関係ー	
		1-3	私法　ー私人と私人の関係ー	
		1-4	法的思考力と法的思考過程　ーリーガルマインドと法的三段論法・法の解釈と適用など一	
第2章	民法の全体像		導入　ー民法のかたちー	
		2-1	民法の歴史と沿革　ーその生い立ちと成長の過程ー	
		2-2	民法の領域　―財産法と家族法・民法典と広義の民法―	
		2-3	民法の適用範囲　ー民法と広義の商法ー	
		2-4	民法の指導原理	
第3章	民法総則の全体像		導入 ー民法総則のかたちー	
		3-1	民法解釈の修正原理　ー一般条項ー	
		3-2	私権の享有主体　ー自然人と法人の権利能力と行為能力ー	
		3-3	私権の享有主体　ー自然人と法人の権利能力と行為能力（制限行為能力者制度を含む）ー	
		3-4	住所・居所・不在者財産管理制度・失踪宣告	
		3-5	同時死亡の推定	
		3-6	法人制度	
		3-7	私権の客体　―物の概念―	
		3-8	法律行為（私権の概念・法律行為と意思表示・代理・無効と取消・付款）	
		3-9	期間計算	
		3-10	時効制度　ー時効制度の存在理由・取得時効と消滅時効ー	
理解度チェック1				
第4章	争点集（1）		導入	○学修期間 4章～8章　10月26日～11月14日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	一般条項	
		4-2	胎児の権利能力	
第5章	争点集（2）	5-1	無効と取消の二重効　ー意思無能力と制限行為能力ー	
		5-2	制限行為能力者の詐術	
第6章	争点集（3）	6-1	失踪宣告の取消	
		6-2	法人の権利能力と行為能力	
第7章	争点集（4）	7-1	権利能力なき社団	
		7-2	法人の不法行為責任	
第8章	争点集（5）	8-1	動機の不法と民法第90条・公序良俗違反と不法原因給付	
		8-2	通謀虚偽表示における第三者の意義	
理解度チェック2				
第9章	争点集（6）	9-1	民法第94条第2項の類推適用	○学修期間 9章～12章　11月15日～12月6日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は12月6日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-2	動機の錯誤	
		9-3	錯誤の他人主張・債権者代位権に基づく錯誤無効主張の可否	
第10章	争点集（7）	10-1	取消と登記・詐欺取消における第三者の意義	
		10-2	代理人の権限濫用	
		10-3	白紙委任状の交付と表見代理の成否	
第11章	争点集（8）	11-1	無権代理と相続	
		11-2	法定代理と表見代理・民法第761条と表見代理	
第12章	争点集（9）	12-1	時効援用権者の範囲	
		12-2	時効完成後の債務承認と時効利益の放棄	
		12-3	割賦払債務における支払の懈怠と消滅時効の起算点	
		12-4	取得時効と登記	
理解度チェック3				
試験				○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

民法ⅡMB　メディア授業計画

科目名	民法ⅡMB	単位
担当教員名	山川　一陽	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート，15章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
	講義用ディスカッションボード			
第1章	担保物権法総論		導入（はじめに）	○学修期間 1章～3章　10月5日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	担保物権	
		1-2	担保の必要性	
第2章	担保物権の種類と機能		導入（はじめに）	
		2-1	典型担保物権の種類	
		2-2	機能としての担保物権	
		2-3	非典型担保物権	
第3章	担保物権の通有性		導入（はじめに）	
		3-1	附従性	
		3-2	随伴性	
		3-3	不可分性	
		3-4	物上代位性	
		3-5	その他の権利	
理解度チェック１				
第4章	留置権（1）		導入（はじめに）	○学修期間 4章～8章　10月26日～11月14日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	留置権	
		4-2	留置権の成立要件①	
		4-3	留置権の成立要件②	
第5章	留置権（2）		導入（はじめに）	
		5-1	留置権の効力	
		5-2	競売権	
第6章	同時履行の抗弁権と留置権		導入（はじめに）	
		6-1	引換え給付判決の意義	
		6-2	留置権の消滅	
第7章	先取特権		導入（はじめに）	
		7-1	先取特権	
		7-2	先取特権の種類	
		7-3	まとめ	
第8章	質権		導入（はじめに）	
		8-1	質権の概要	
		8-2	質権の対象となるもの	
理解度チェック２				
第9章	抵当権（1）		導入（はじめに）	○学修期間 9章～15章　11月15日～12月6までに学修及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月6日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-1	抵当権の意義	
		9-2	近代的抵当権とはなにか	
		9-3	抵当権の問題	
第10章	抵当権（2）		導入（はじめに）	
		10-1	抵当権の有する担保物権の通有性	
		10-2	抵当権の効力の範囲	
第11章	抵当権（3）		導入（はじめに）	
		11-1	抵当権効力の及ぶ範囲	
		11-2	果実と抵当権	
		11-3	担保される債権の範囲	
		11-4	抵当権の侵害	
		11-5	抵当権と用益権との調和	
第12章	法定地上権		導入（はじめに）	
		12-1	法定地上権の意義	
		12-2	法定地上権の成立	
		12-3	法定地上権に関するその他の問題点	
		12-4	抵当権と賃借人の保護	
第13章	抵当不動産の第三者取得者の地位		導入（はじめに）	
		13-1	抵当不動産の第三者取得者の地位について	
		13-2	非典型担保物権の諸問題	
第14章	譲渡担保		導入（はじめに）	
		14-1	譲渡担保の性格論について	
		14-2	譲渡担保権の設定について	
		14-3	譲渡担保権の効力	
		14-4	集合物譲渡担保	
第15章	仮登記担保		導入（はじめに）	
		15-1	総説	
		15-2	仮登記担保権	
理解度チェック３				
試験				○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

科目名	刑法Ｉ	単位
担当教員名	船山　泰範	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番合	章名	節番合	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート，15章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	構成要件該当性と違法性・有責性，正当防衛	1	構成要件該当性と違法性・有責性	○学修期間 1章～5章　10月5日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	違法性阻却の意味	
		3	違法性阻却事由の全貌	
		4	違法性と有責性	
		5	違法性の本質	
		6	正当防衛	
		7	過剰防衛	
		8	正当防衛と共同正犯	
		9	盗犯等防止法による正当防衛	
			自己点検	
第2章	緊急避難，法令行為，正当行為	1	カルネアデスの板	
		2	緊急避難	
		3	刑法35条の趣旨	
		4	法令行為	
		5	正当行為	
		6	労働争議行為	
		7	公共目的のための名誉毀損的行為	
			自己点検	
第3章	超法規的違法性阻却事由，自殺行為	1	実質的違法性論	
		2	超法規的違法性阻却事由	
		3	違法論が構成要件に影響する	
		4	尊属殺人罪をふり返る	
		5	自救行為	
			自己点検	
第4章	被害者の承諾，安楽死，尊厳死	1	被害者の承諾	
		2	同意傷害	
		3	安楽死	
		4	義務の衝突	
		5	違法性阻却事由の錯誤	
		6	誤想防衛	
		7	誤想過剰防衛	
		8	違法阻却事由の主張は，どの段階で行うか	
			自己点検	
第5章	有責性の本質，心神喪失	1	有責性とは何か	
		2	責任能力	
		3	違法性と有責性	
		4	責任と制裁	
		5	刑罰は目標ではない	
		6	心神喪失	
		7	心神耗弱	
			自己点検	
理解度チェック1				
第6章	行為と責任能力の同時存在の原則，刑事未成年	1	行為と責任能力の同時存在の原則	○学修期間 6章～10章　10月26日～11月14日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	原因において自由な行為	
		3	刑事未成年	
		4	可塑性	
		7	心神喪失者等医療観察制度	
		8	刑事司法における心神喪失の取扱い	
			自己点検	
第7章	法律の錯誤，違法性の意識	1	超法規的有責性阻却事由	
		2	法律の錯誤	
		3	法律の誤解	
		4	違法性の意識の欠如	
		5	違法性の意識の可能性	
		6	故意説と責任説	
			自己点検	
第8章	期待可能性，犯罪成立要件のまとめ	1	暴れ馬事件	
		2	規範的責任論	
		3	期待可能性を実定法に見る	
		4	期待可能性の判断基準	
		5	期待可能性に関する判例	
		6	判例と立法	
		7	犯罪成立要件のまとめ	
			自己点検	
第9章	基本原則を確認する，罪刑法定主義	1	具体的法理の背景にある根本原則	
		2	刑法の意義	
		3	刑法の役割	
		4	刑法の立法根拠	
		5	罪刑法定主義の意義・根拠	
		6	罪刑法定主義の具体的展開	
		7	刑法6条との関係	
			自己点検	
第10章	責任主義	1	責任なければ犯罪なし	
		2	責任主義の2つの面	
		3	個人責任主義を修正した共犯	
		4	同時犯の原則と例外	
		5	結果的加重犯と因果関係	
		6	事実認定学の課題	
			自己点検	
理解度チェック2				

科目名	刑法Ｉ	単位
担当教員名	船山　泰範	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
第11章	刑罰の内容と本質	1	刑罰の種類	○学修期間 11章～15章　11月15日～12月6日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は12月6日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	刑罰以外の制裁	
		3	刑罰の害悪性	
		4	刑罰の本質	
		5	刑罰を数値で捉える	
		6	懲役刑の内容	
		7	刑務所参観から学ぶ	
			自己点検	
第12章	刑罰が克服すべき課題	1	国民の自覚の問題	
		2	刑罰に関する検討課題	
		3	社会的弱者が刑事司法過程の中で割合として多くなる	
		4	応報刑論と教育刑論	
		5	希望がなければ刑罰とは言えない	
			自己点検	
第13章	罪数	1	罪数が問われる理由	
		2	行為の個数	
		3	罪数より前の問題	
		4	法条競合	
		5	観念的競合	
		6	牽連犯	
		7	最も重い刑による	
		8	併合罪	
		9	不可罰的事後行為	
		10	併合罪と量刑判断	
			自己点検	
第14章	刑の執行	1	刑の適用の多様性	
		2	法定刑・処断刑・宣告刑	
		3	刑の加重・減軽	
		4	刑法の場所的適用範囲	
		5	刑の執行	
		6	刑の消滅	
			自己点検	
第15章	刑の執行後、裁判員裁判と刑法、答案・論文の書き方、21世紀の刑法の課題	1	刑の執行後	
		2	裁判員裁判と刑事法	
		3	刑法と刑事訴訟法との関係	
		4	答案・論文の書き方	
		5	21世紀の刑法の課題	
			自己点検	
理解度チェック3				
試験				○「試験」 最終試験は12月7日から12月13日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

刑法ⅡMB　メディア授業計画

科目名	刑法Ⅱ	単位
担当教員名	設楽　裕文	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート，15章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	序（MB講義全体について） 騒乱の罪 放火及び失火の罪	1	社会的法益に対する罪、国家的法益に対する罪を学ぶにあたって	○学修期間 1章～5章　10月5日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2－1	騒乱罪	
		2－2	多衆不解散罪	
		3～6	放火及び失火の罪	
			自己点検	
第2章	出水及び水利に関する罪 往来を妨害する罪 あへん煙に関する罪 飲料水に関する罪	1	出水及び水利に関する罪	
		2～4	往来を妨害する罪	
		5	あへん煙に関する罪	
		6	飲料水に関する罪	
			自己点検	
第3章	公共の信用に対する罪　総説 通貨偽造の罪 文書偽造の罪（Ⅰ）	1	公共の信用に対する罪　総説	
		2～3	通貨偽造の罪	
		4	文書偽造の罪―保護法益等	
		5	文書偽造の罪―名義人、作成者	
			自己点検	
第4章	文書偽造の罪（Ⅱ）	1	文書偽造の罪―原本性等	
		2～3	偽造	
		4～7	最狭義の偽造―具体的問題	
			自己点検	
第5章	文書偽造の罪（Ⅲ）	1	変造の意義等	
		2～4	文書偽造の罪　各説	
			自己点検	
理解度チェック1				
第6章	文書偽造の罪（Ⅳ） 有価証券偽造の罪	1～3	文書偽造の罪　各説	○学修期間 6章～10章　10月26日～11月14日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4～5	有価証券偽造の罪	
			自己点検	
第7章	支払用カード電磁的記録に関する罪 印章偽造の罪 不正指令電磁的記録に関する罪	1～2	支払用カード電磁的記録に関する罪	
		3～4	印章偽造の罪	
		5	不正指令電磁的記録に関する罪	
			自己点検	
第8章	風俗に対する罪　総説 わいせつ、姦淫及び重婚の罪（Ⅰ）	1	風俗に対する罪　総説	
		2～5	わいせつ、姦淫及び重婚の罪	
			自己点検	
第9章	わいせつ、姦淫及び重婚の罪（Ⅱ） 賭博及び富くじに関する罪 礼拝所及び墳墓に関する罪	1	わいせつ、姦淫及び重婚の罪　児童買春、児童ポルノ等の規制と処罰	
		2～3	賭博及び富くじに関する罪	
		4～5	礼拝所及び墳墓に関する罪	
			自己点検	
第10章	国家的法益に対する罪の全体像 内乱の罪 外患に関する罪 国交に関する罪	1	国家的法益に対する罪の全体像	
		2～3	内乱の罪	
		4	外患に関する罪	
		5	国交に関する罪	
			自己点検	
理解度チェック2				
第11章	国家・地方公共団体の作用を害する罪　総説 公務の執行を妨害する罪	1	国歌・地方公共団体の作用を害する罪　総説	○学修期間 11章～15章　11月15日～12月6日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は12月6日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2～6	公務の執行を妨害する罪	
			自己点検	
第12章	逃走の罪 犯人蔵匿及び証拠隠滅の罪	1～2	逃走の罪	
		3～6	犯人蔵匿及び証拠隠滅の罪	
			自己点検	
第13章	偽証の罪 虚偽告訴の罪	1～4	偽証の罪	
		5	虚偽告訴の罪	
			自己点検	
第14章	職権濫用の罪 賄賂罪（Ⅰ）	1～3	職権濫用の罪	
		4	賄賂罪：総説1	
		5	賄賂罪：総説2	
			自己点検	
第15章	賄賂罪（Ⅱ） まとめ	1～3	賄賂罪：総説3～5	
		4	賄賂罪：各説1	
		5	賄賂罪：各説2	
		6	講義全体のまとめ	
			自己点検	
理解度チェック3				
試験				○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日までが，出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

国文学講義Ⅴ（近代）MB　メディア授業計画

科目名	国文学講義Ⅴ（近代）	単位
担当教員名	永岡　健右	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば，何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	国文学講義Ⅴ（近代）MBの学習目標と範囲		導入ー学習目標と範囲の概要ー	○学習期間 1章～4章　10月5日～10月21日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	文芸思潮別作家・作品一覧ー近代文学の流れー	
		1-2	明治のハイカラ	
		1-3	大正のモダニズム	
			自己点検	
第2章	写実主義の時代（1）		導入ー近世から継続された読み物ー	
		2-1	滝沢馬琴の『南総里見八犬伝』	
		2-2	坪内逍遥の『小説神髄』	
		2-3	硯友社の文学傾向	
		2-4	硯友社社則	
		2-5	尾崎紅葉と幸田露伴の文学	
			自己点検	
第3章	写実主義の時代（2）		導入ー近代人の苦悩ー	
		3-1	二葉亭四迷の『浮雲』	
		3-2	森鷗外の『舞姫』	
		3-3	樋口一葉の『十三夜』	
			自己点検	
第4章	「文学界」と北村透谷ー浪漫主義へー		導入ー浪漫主義・文学の芽ぶきー	
		4-1	厭世詩家と女性	
		4-2	石坂ミナ宛書簡（1887年明治21年9月3日付）	
		4-3	与謝野晶子の『みだれ髪』	
			自己点検	
理解度チェック1				
第5章	西欧からの自然主義思潮の移入		導入ー西欧からの自然主義思潮の移入ー	○学習期間 5章～7章　10月22日～11月4日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月4日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	永井荷風の『地獄の花』跋文・小杉天外の『はやり唄』の叙	
		5-2	島崎藤村の詩から散文（小説）へ	
		5-3	島崎藤村の写生文の確立ー文章によるスケッチの試みー	
			自己点検	
第6章	日本自然主義文学		導入ー夏目漱石が感動した作品ー	
		6-1	島崎藤村『破戒』の魅力	
		6-2	『破戒』を読んでみよう	
		6-3	明治40年代以降の藤村文学の動向	
			自己点検	
第7章	明治40年代の文学		導入ー思想弾圧下の文学ー	
		7-1	永井荷風の『花火』	
		7-2	ドレフュー事件	
		7-3	石川啄木の『時代閉塞の現状』（冬の時代）	
		7-4	無理想・無解決の文学全盛時代	
			自己点検	
理解度チェック2				
第8章	非自然主義の文学ー夏目漱石・森鷗外の文学とその流れー		導入ー留学体験者の文学観ー	○学習期間 8章～10章　11月5日～11月18日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月18日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	『文芸とヒロイック』	
		8-2	『坊ちゃん』	
		8-3	その後の漱石文学＜中期三部作と称される作品＞から『こころ』へ	
		8-4	『それから』	
		8-5	森鴎外の歴史小説『興津彌五右衛門の遺書』	
		8-6	漱石・鴎外の非自然主義文学の性格	
		8-7	「スバル」派の文学	
			自己点検	
第9章	反自然主義の文学①ー理想主義の文学『白樺』ー		導入ー現実肯定と理想主義ー	
		9-1	『白樺』	
		9-2	『新しき村』の建設の試み	
		9-3	志賀直哉の『范の犯罪』	
		9-4	有島武郎の『宣言一つ』	
			自己点検	
第10章	反自然主義の文学②ー「新思潮派」の文学ー		導入ー新思潮派の文学ー	
		10-1	谷崎潤一郎の『刺青』を詠む	
		10-2	谷崎文学のその後	
		10-3	第3次『新思潮』の文学ー芥川龍之介の文学ー	
			自己点検	
理解度チェック3				
第11章	新感覚派の文学ーモダニズムの文学ー		導入ー第一次世界大戦後のアメリカ文化流入ー	○学習期間 11章～12章　11月19日～12月2日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	モダニズム文学の定着	
		11-2	横光利一の『蠅』	
		11-3	横光利一の『頭ならびに腹』	
		11-4	新感覚派と称されている他の作家について	
			自己点検	
第12章	プロレタリア文学ー労働者の文学と国家権力の弾圧による転向ー		導入	
		12-1	『種蒔く人』の創刊とその時代背景	
		12-2	『文芸戦線』の創行ーマルクス主義とロシア革命の影響ー	
		12-3	『海に生くる人々』の概略	
		12-4	『驢馬』と中野重治の詩ー夜明け前のさよなら，機関車ー	
		12-5	小林多喜二の『蟹工船』	
		12-6	小林多喜二の死とプロレタリア文学弾圧の時代	
			自己点検	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 最終試験は12月3日～12月9日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月10日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

イギリス文学史ＩMB　メディア授業計画

科目名	イギリス文学史Ｉ	単位
担当 教員名	原　公章	4

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	利用機能
	表紙			○本講座は3つのパート，15章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
	講義用ディスカッションボード			
第1章	王政復古期から新古典主義の文学へ		導入（はじめに）	○学修期間 1章～5章　10月5日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	王政復古と二大政党の誕生，そして名誉革命へ	
		1-2	17世紀の散文作家たち	
		1-3	理性の時大へ	
			自己点検	
第2章	新古典主義の文学		導入（はじめに）	
		2-1	ジョン・ドライデンと新古典主義	
		2-2	アレグザンダー・ポープと新古典主義（1）	
		2-3	アレグザンダー・ポープと新古典主義（2）	
			自己点検	
第3章	作品を読む＜1＞		導入（はじめに）	
		3-1	ドライデンの「アレグザンダーの響宴」	
		3-2	ポープの『髪の毛の強奪』の冒頭部を読む	
			自己点検	
第4章	17世紀の演劇・ジャーナリズム・女性作家の登場		導入（はじめに）	
		4-1	王政復古期の演劇ー風習喜劇の発達	
		4-2	ジャーナリズムの時代の始まり	
		4-3	女性詩人レディ・ウィンチルシー，及び他の詩人たち	
			自己点検	
第5章	ジョンソン博士とその周辺		導入（はじめに）	
		5-1	18世紀文学界の中心的存在，サミュエル・ジョンソン	
		5-2	ジョンソン博士とその周辺	
		5-3	風習喜劇の頂点ーリチャード・シェリダン	
			自己点検	
理解度チェック1				
第6章	小説の時代の始まり		導入（はじめに）	○学修期間 6章～10章　10月26日～11月14日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		6-1	小説とは何か	
		6-2	最初の本格的小説『ロビンソン・クルーソー』ほか	
		6-3	風刺文学の代表作品『ガリヴァー旅行記』ほか	
			自己点検	
第7章	近代小説の幕開け	7-1	18世紀の社会状況	
		7-2	最初の近代小説ーサミュエル・リチャードソン『パミラ』	
		7-3	リチャードソンの『クラリッサ』と『サー・チャールズ・グランディソン』	
			自己点検	
第8章	ヘンリー・フィールディングとトバイアス・スモレット	8-1	フィールディング（1）「散文による喜劇的叙事詩」	
		8-2	フィールディング（2）代表作『トム・ジョーンズ』	
		8-3	トバイアス・スモレット，元祖ピカレスク小説家	
			自己点検	
第9章	スターンとセンティメンタル小説，及び家庭小説		導入（はじめに）	
		9-1	『トリストラム・シャンディ』ーこの奇妙な小説	
		9-2	スターン『センティメンタル・ジャーニー』とマッケンジー『感情の人』	
		9-3	家庭小説の台頭	
			自己点検	
第10章	ゴシック小説家たち		導入（はじめに）	
		10-1	ゴシック小説の流行	
		10-2	ホレス・ウォルポール『オトラント城』	
		10-3	アン・ラドクリフ『ユードルフォー城の秘密』ほか	
			自己点検	
理解度チェック2				
第11章	ロマン主義の前衛詩人たち		導入（はじめに）	○学修期間 11章～15章　11月15日～12月6日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は12月6日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	ロマン主義とは何か	
		11-2	トマス・グレイ『田舎の墓場にて詠める哀歌』	
		11-3	ウィリアム・クーパーほか，18世紀のロマン派前衛詩人たち	
			自己点検	
第12章	作品を読む＜2＞	12-1	トマス・グレイ『田舎の墓場にて詠める哀歌』を読む	
		12-2	クーパーとコリンズの「夕べに寄せる歌」	
			自己点検	
第13章	ウィリアム・ブレイクの詩を読む	13-1	幻視者ウィリアム・ブレイク	
		13-2	予言者ウィリアム・ブレイク	
		13-3	ブレイクの詩を読むー「迷子の男の子」と「ロンドン」	
			自己点検	
第14章	ロバート・バーンズの詩を読む	14-1	恋する農民詩人ロバート・バーンズ	
		14-2	スコットランドとバーンズを歌う	
			自己点検	
第15章	19世紀に向けて		導入（はじめに）	
		15-1	ゴドウィン対マルサス	
		15-2	最後にもう一度，イギリス文学史を学ぶことについて	
			自己点検	
理解度チェック3				
試験				○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

英文法MB　メディア授業計画

科目名	英　文　法	単位
担当教員名	山　岡　　洋	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	助動詞（1）　Auxiliary Verbs(1)		導入	○学習期間 1章～5章　10月5日～10月24日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月24日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	助動詞とは(What is a verb?)	
			自己点検	
第2章	助動詞（2）　Auxiliary Verbs(2)	2-1	法(mood)	
		2-2	直接法(indicative mood)	
		2-3	仮定法(subjunctive mood)	
		2-4	命令法(imperative mood)	
			自己点検	
第3章	助動詞（3）　Auxiliary Verbs(3)	3-1	法助動詞(modal auxiliaries)	
		3-2	can,could[能力・可能][許可][可能性]	
		3-3	may,might[許可][可能性][祈願][目的節・譲歩節の中で]	
		3-4	must[義務][推量]	
		3-5	その他（need,dare,had better,ought,used）	
			自己点検	
第4章	助動詞（4）　Auxiliary Verbs(4)	4-1	「アスペクト」と「動作動詞／状態動詞」	
		4-2	時制（tense）	
		4-3	未来を表す表現(future expressions)	
			自己点検	
第5章	助動詞（5）　Auxiliary Verbs(5)	5-1	完了形(perfect)	
		5-2	進行形(progressive)	
		5-3	受動態(passive voice)	
			自己点検	
	理解度チェック1			
第6章	形容詞・副詞　Adjectives and Adverbs		導入	○学習期間 6章～7章　10月25日～11月7日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月7日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		6-1	形容詞・副詞とは(What is an adjective?)	
		6-2	補部になる形容詞・副詞	
		6-3	修飾語としての形容詞・副詞	
		6-4	比較	
			自己点検	
第7章	前置詞　Prepositions		導入	
		7-1	前置詞とは（What is preposition?）	
		7-2	意味による前置詞の分類	
			自己点検	
	理解度チェック2			
第8章	不定詞　Infinitive		導入	○学習期間 8章～10章　11月8日～11月21日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	不定詞とは（名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法）	
		8-2	不定詞の意味上の主語	
		8-3	不定詞を含む表現	
			自己点検	
第9章	分詞　Participles	9-1	分詞とは（現在分詞と過去分詞）	
		9-2	名詞修飾の分詞	
		9-3	補部になる分詞（S+V+分詞・S+V+O+分詞）	
		9-4	分詞構文	
			自己点検	
第10章	動名詞　Gerund	10-1	動名詞とは(What is a gerund?)	
		10-2	動名詞の働き	
		10-3	動名詞の意味上の主語	
		10-4	動名詞と分詞・不定詞	
			自己点検	
	理解度チェック3			
第11章	接続詞　Conjunctions		導入	○学習期間 11章～12章　11月22日～12月5日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月5日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	接続詞とは(What are conjunctions?)	
		11-2	等位接続詞(Coordinate Conjunction:CC)	
		11-3	従属接続詞(Subordinate Conjunction:SC)	
		11-4	名詞的従属接続詞(Nominal Subordinate Conjunction:NSC)	
		11-5	副詞的従属接続詞Adverbial Subordinate Conjunction:ASC)	
			自己点検	
第12章	関係詞　Relatives		導入	
		12-1	関係詞とは(What are relatives?)	
		12-2	関係代名詞	
		12-3	関係副詞	
			自己点検	
	理解度チェック4			
試　　験				○「試験」 最終試験は12月6日～12月12日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月13日は全章の復習期間にしてください。

英米文学概説MB　メディア授業計画

科目名	英米文学概説MB	単位
担当教員名	鈴木　孝	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	アメリカ文化・文学の特徴と植民地時代の文学		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月20日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月20日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	宗教性・精神性	
		1-2	放浪性・移動好み	
		1-3	政治的関心・社会的関心	
		1-4	国土の広さと文化の多様性	
		1-5	植民地時代ーアメリカ文学の起源	
		1-6	南部ヴァージニアの植民地とプリマスのピルグリム・ファーザーズたち	
		1-7	ピューリタニズムと科学の並立	
		1-8	ベンジャミン・フランクリン	
			自己点検	
第2章	独立戦争前後ーアメリカ文学の曙		導入	
		2-1	フランクリンの影響・John Woolmanの日記等ー独立戦争前後	
		2-2	植民地時代から独立後にかけての詩	
		2-3	トマス・ペインとアメリカ独立	
		2-4	最初期の小説	
		2-5	超越主義ーエマソンとソーロー	
		2-6	ヨーロッパの影の下でー最初期の小説家たち	
			自己点検	
第3章	アメリカ・ルネッサンス		導入	
		3-1	『アンクル・トムの小屋』とアメリカ文学のロマン主義	
		3-2	ホイットマンとエミリ・ディッキンソン	
		3-3	ホイットマン	
		3-4	エミリ・ディキンソン	
		3-5	ホーソーンとメルヴィル	
		3-6	ハーマン・メルヴィルと『モウビー・ディック』	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	放浪の精神・国際感覚		導入	○学習期間 4章～6章　10月21日～11月3日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	マーク・トウェイン	
		4-2	ヘンリー・ジェイムズの世界	
			自己点検	
第5章	リアリズムの台頭・地方の作家たち		導入	
		5-1	物質主義的文化の批判	
		5-2	ウィリアム・ディーン・ハウエルズ	
		5-3	ヘンリー・アダムズの意義	
		5-4	地方の作家たちと作品	
			自己点検	
第6章	社会問題と文学ー地方の文学から自然主義の文学へ		導入	
		6-1	東部のイーディス・ウォートン	
		6-2	西部のウィラ・キャザー	
		6-3	エレン・グラスゴー	
		6-4	辺境の消滅と自然主義の文学	
			自己点検	
理解度チェック2				
第7章	自然主義の小説とアメリカ的誠実		導入	○学習期間 7章～9章　11月4日～11月17日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	スティーヴン・クレイン	
		7-2	フランク・ノリス	
		7-3	ジャック・ロンドン	
		7-4	セオドア・ドライサー	
		7-5	アプトン・シンクレアとマックレイカーたち	
		7-6	二人の健全な短編作家ーアンブロウズ・ビアスとO.ヘンリー	
			自己点検	
第8章	大衆文化とモダニズム		導入	
		8-1	シカゴ・ルネッサンスとその経済的背景	
		8-2	シカゴの経済的繁栄と詩人たち	
		8-3	ハリエット・モンローとシカゴ・ルネッサンス	
		8-4	パウンドとフロストほか	
		8-5	スティーヴンズとウィリアムズ	
			自己点検	
第9章	シカゴ・ルネッサンス，さまざまのルネッサンスそしてフォークナー		導入	
		9-1	シカゴのシャーウッド・アンダスンとシンククレア・ルイス	
		9-2	ハーレム・ルネッサンス，サザン・ルネッサンスなど	
		9-3	サザン・ルネッサンス	
		9-4	ウィリアム・フォークナー	
			自己点検	
理解度チェック3				
第10章	南部・中西部・西部の作家たち		導入	○学習期間 10章～12章　11月18日～12月1日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月1日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	南部の作家たちートマス・ウルフとアースキン・コールドウェル	
		10-2	中西部のファレルとオルグレン	
		10-3	西部の作家たちースタインベックとサロイアン	
		10-4	ニューヨークの二人ーヘンリー・ミラーとナサニエル・ウェスト	
		10-5	失われた世代	
			自己点検	
第11章	「失われた世代」（つづき）：演劇の諸相		導入	
		11-1	ドス・パソス	
		11-2	ヘミングウェイ	
		11-3	演劇の伝統	
		11-4	ユージン・オニール	
		11-5	1920・30年代以降のその他の劇作家たち	
		11-6	テネシー・ウィリアムズとアーサー・ミラー	
			自己点検	
第12章	第2次大戦後の多様化		導入	
		12-1	政治経済的繁栄と文化の萎縮	
		12-2	ノーマン・メイラーその他の戦争文学	
		12-3	ビートニックスの文化と文学	
		12-4	ユダヤ系の作家たちとその伝統	
		12-5	アメリカ文化の多様性	
		12-6	結論	
			自己点検	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 最終試験は12月2日～12月8日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月9日～12月13日は全章の復習期間にしてください。

英語史MB　メディア授業計画

科目名	英　語　史	単位
担当教員名	真野一雄	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	インド・ヨーロッパ祖語　母音交替		導入	○学習期間 第1章～第6章　10月5日～11月7日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は11月7日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	音の変化	
		1-2	母音交替	
		1-3	母音のヴァリエーション	
		1-4	現代への影響	
		1-5	子音	
			自己点検	
第2章	ゲルマン祖語　グリムの法則		導入	
		2-1	名称	
		2-2	グリムの法則	
		2-3	変化（その1）	
		2-4	変化（その2）	
		2-5	変化（その3）	
		2-6	覚え方	
		2-7	ヴェルネルの法則	
			自己点検	
第3章	古英語　母音変異		導入	
		3-1	名称	
		3-2	ウムラウトとは？	
		3-3	i音の影響	
		3-4	ウムラウト複数	
		3-5	他の例	
		3-6	覚え方	
		3-7	他の音変化	
		3-8	中英語の音変化	
			自己点検	
第4章	近代英語　大母音推移		導入	
		4-1	大母音推移の特徴	
		4-2	各音の変化	
		4-3	大母音推移を受けない語	
		4-4	覚え方	
		4-5	母音字の原則的読み方	
		4-6	母音字の読み方の規則	
		4-7	発音と綴り字の不一致の原因	
		4-8	その他の音変化	
			自己点検	
第5章	名詞の性・数・格／不規則複数形		導入	
		5-1	屈折	
		5-2	名詞の性・数・格	
		5-3	所有格と複数形	
		5-4	不規則複数形ー無変化	
		5-5	-en 語尾	
		5-6	ウムラウト複数	
		5-7	借用語本来の複数形	
			自己点検	
第6章	代名詞／形容詞		導入	
		6-1	指示代名詞，冠詞	
		6-2	人称代名詞ー1人称	
		6-3	人称代名詞ー2人称	
		6-4	人称代名詞ー3人称	
		6-5	再帰代名詞	
		6-6	所有代名詞	
		6-7	疑問代名詞	
		6-8	形容詞	
			自己点検	
理解度チェック1				
第7章	強変化動詞／弱変化動詞（1）		導入	○学習期間 第7章～第12章　11月8日～12月12日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は12月12日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	動詞の活用語尾	
		7-2	強変化動詞	
		7-3	基本形	
		7-4	弱変化動詞	
			自己点検	
第8章	弱変化動詞（2）／特別動詞		導入	
		8-1	弱変化動詞—例外（その1）	
		8-2	弱変化動詞—例外（その2）	
		8-3	弱変化動詞—例外（その3）	
		8-4	弱変化動詞—例外（その4）	
		8-5	弱変化動詞—例外（その5）	
		8-6	過去現在動詞	
		8-7	be	
		8-8	do	
		8-9	go	
		8-10	will	
			自己点検	
第9章	二重否定／語順の確立／属格		導入	
		9-1	二重否定	
		9-2	二重比較	
		9-3	語順の確立	
		9-4	属格の用法	
		9-5	群属格	
			自己点検	
第10章	It is me／関係代名詞		導入	
		10-1	It is I の成立	
		10-2	It is me の成立	
		10-3	関係代名詞の歴史（その1）	
		10-4	関係代名詞の歴史（その2）	
			自己点検	
第11章	非人称動詞		導入	
		11-1	非人称動詞とは？	
		11-2	非人称動詞の変遷	
		11-3	if you please	
		11-4	人称動詞化の理由	
			自己点検	
第12章	動詞形の多様性／接続法		導入	
		12-1	未来の表し方（その1）	
		12-2	未来の表し方（その2）	
		12-3	助動詞 do の変遷（その1）	
		12-4	助動詞 do の変遷（その2）	
		12-5	助動詞 do の変遷（その3）	
		12-6	接続法の用法	
		12-7	接続法の形態	
			自己点検	
理解度チェック2				
復習期間				課題提出後の12月13日は全章の復習期間です。

英語音声学MB　メディア授業計画

科目名	英語音声学	単位
担当教員名	森　晴代	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	話しことばのプロソディ		導入	○学修期間 1章～4章　10月5日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	分節音とプロソディ	
		1-2	話しことばのリズム：観察	
		1-3	リズムの定義	
		1-4	リズムの類型論	
		1-5	英語のリズムと日本語のリズム	
		1-6	内容語と機能語	
		1-7	機能語の発音：強形と弱形	
		1-8	強母音と弱母音	
		1-9	まとめ	
			自己点検	
第2章	語強勢（1）		導入	
		2-1	強勢アクセントとピッチアクセント	
		2-2	語強勢	
		2-3	語強勢の予測性	
		2-4	動詞と名詞の強勢規則	
		2-5	日本の地名の強勢位置（再考）	
		2-6	まとめ	
			自己点検	
第3章	語強勢（2）		導入	
		3-1	接尾辞と強勢	
		3-2	強勢移動接尾辞と強勢中立接尾辞	
		3-3	強勢の移動と分節音の変化	
		3-4	複合語の強勢	
		3-5	複合名詞と名詞句の強勢	
		3-6	英語の複合名詞と日本語の外来語	
		3-7	まとめ	
			自己点検	
第4章	英語音声の観察と発音練習（1）		導入	
		4-1	アメリカ標準発音の母音	
		4-2	イギリス標準発音の母音	
		4-3	困難を感じやすい英語子音の区別	
		4-4	英語のリズム	
理解度チェック1				
第5章	プロソディと文の発音		導入	○学修期間 5章～8章　10月26日～11月14日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	音声コミュニケーションのモデル	
		5-2	「ことばの鎖」モデルとメッセージの伝達	
		5-3	メッセージの伝達と言語音声	
		5-4	話しことばのイントネーション	
		5-5	まとめ	
			自己点検	
第6章	イントネーション（1）		導入	
		6-1	英語イントネーションの3つの要素	
		6-2	音調句への分割(Tonality)	
		6-3	文の区切り方の問題	
		6-4	音調の選択(Tone)	
		6-5	イントネーションの表記	
		6-6	文の種類と基本音調	
		6-7	文の種類と基本音調（まとめ）	
			自己点検	
第7章	イントネーション（2）		導入	
		7-1	音調核音節の位置づけ：Tonicity	
		7-2	通常の強勢	
		7-3	新情報と旧情報	
		7-4	情報の焦点と情報の新旧	
		7-5	文末焦点の原理と自動詞構文	
		7-6	旧情報と音調核	
		7-7	まとめ	
			自己点検	
第8章	英語音声の観察と発音練習（2）		導入	
		8-1	アメリカ標準発音とイギリス標準発音の母音	
		8-2	困難を感じやすい英語子音	
		8-3	英語のイントネーション	
		8-4	音声表記（アメリカ標準発音）	
理解度チェック2				
第9章	話しことばにおける発音の変化（1）		導入	○学修期間 第9～12章の学修期間は11月15日～12月13日までとなっております。
		9-1	文の発音	
		9-2	分節音の特徴と単語間の区切り	
		9-3	分節音の特徴と単語間のつながり	
		9-4	強勢の移動	
		9-5	まとめ	
			自己点検	
第10章	話しことばにおける発音の変化（2）		導入	
		10-1	話しことばの中の単語の発音	
		10-2	音の脱落	
		10-3	音の同化	
		10-4	音の融合	
		10-5	連結のRと割り込みのR	
		10-6	まとめ	
			自己点検	
第11章	英語音声の観察と発音練習（3）		導入	
		11-1	英語の子音連続	
		11-2	英語のリズム	
		11-3	文の区切り	
		11-4	音声表記（イギリス標準発音）	
第12章	日英語のプロソディと音声転移		導入	
		12-1	音声転移	
		12-2	リズムとアクセント	
		12-3	イントネーション	
		12-4	分節音の発音とプロソディ	
		12-5	まとめ	
			自己点検	
試験				○試験 最終試験は12月7日～12月13日までが，出題および解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

英語学概説MB　メディア授業計画

科目名	英語学概説MB	単位
担当教員名	真野　一雄	2

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート，15章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	形態論（1）	1-1	形態論と形態素	○学修期間 1章～5章　10月5日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-2	自由形態素	
		1-3	拘束形態素	
		1-4	派生接辞と屈折接辞	
		1-5	異形態	
			自己点検	
第2章	形態論（2）	2-1	語基と語幹	
		2-2	語形成	
		2-3	複合	
		2-4	派生	
			自己点検	
第3章	形態論（3）	3-1	転換	
		3-2	混成	
		3-3	短縮	
		3-4	頭文字語	
		3-5	逆形成	
			自己点検	
第4章	統語論-生成文法（1）	4-1	統語論とは	
		4-2	構成素と構成素診断テスト	
		4-3	内部構造と樹形図	
			自己点検	
第5章	統語論-生成文法（2）	5-1	句構造	
		5-2	句構造規則	
		5-3	標示付括弧	
		5-4	文法範疇	
		5-5	補文	
			自己点検	
理解度チェック1				
第6章	統語論-生成文法（3）	6-1	句構造（応用編）	○学修期間 6章～10章　10月26日～11月14日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		6-2	指定部	
		6-3	X－bar理論	
		6-4	XP（X Phrase）	
			自己点検	
第7章	統語論-生成文法（4）	7-1	受動文	
		7-2	文(TP)	
		7-3	文（IP）	
			自己点検	
第8章	統語論-生成文法（5）	8-1	補部と付加部	
		8-2	yes-no疑問文　助動詞	
		8-3	yes-no疑問文　一般動詞	
		8-4	yes-no疑問文　be, have	
		8-5	wh疑問文	
			自己点検	
第9章	情報構造	9-1	情報構造（旧情報と新情報）	
		9-2	there構文	
		9-3	SVOOとSVOA構文	
		9-4	put it on	
		9-5	分裂文と擬似分裂文	
			自己点検	
第10章	英語史（1）古英語	10-1	インド・ヨーロッパ語族	
		10-2	ゲルマン語派	
		10-3	英語の時代区分	
		10-4	古英語の特徴	
		10-5	借用語	
			自己点検	
理解度チェック2				
第11章	英語史（2）中英語	11-1	中英語とは	○学修期間 11章～15章　11月15日から12月6日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月6日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-2	ノルマン人の征服	
		11-3	フランス借用語	
		11-4	フランス語式綴り字	
		11-5	英語の復興	
		11-6	中英語の特徴	
			自己点検	
第12章	英語史（3）近代英語	12-1	ラテン語借用語	
		12-2	理性の時代	
		12-3	大母音推移	
		12-4	ルネサンス期	
		12-5	通商語としての英語	
			自己点検	
第13章	世界の英語（アメリカ英語）	13-1	アメリカ英語とは	
		13-2	一般アメリカ英語	
		13-3	語彙・新語	
		13-4	文法の違い	
		13-5	黒人英語	
			自己点検	
第14章	日英語の比較（1）	14-1	語彙の比較	
		14-2	語順の比較	
		14-3	文構造の比較	
		14-4	後置文の比較	
			自己点検	
第15章	日英語の比較（2）	15-1	英語の文の情報構造	
		15-2	受動文の比較	
		15-3	英語の受身文	
		15-4	疑似受身文	
		15-5	日本語の受動文	
			自己点検	
理解度チェック3				
	試験			○「試験」 リポート試験は12月7日～12月13日までが，出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

東洋史概説MB　メディア授業計画

科目名	東洋史概説／東洋史概論	単位
担当教員名	須江　隆・綿貫　哲郎	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
	東洋史を学ぶ意義			
第1章	中華帝国史概説Ⅰ		導入	○学習期間 1章～7章　10月5日～11月7日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は11月7日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	古代	
		1-2	中世	
		1-3	唐宋変革	
第2章	中華帝国史概説Ⅱ		導入	
		2-1	近世	
		2-2	近代	
		2-3	最近の中国	
第3章	皇帝制度		導入	
		3-1	秦の始皇帝と皇帝制度の確立	
		3-2	天人相関説と皇帝の宿命	
		3-3	君主独裁体制下の皇帝	
第4章	科挙制度		導入	
		4-1	科挙前史と科挙制の沿革	
		4-2	科挙の仕組みと社会問題	
		4-3	科挙制度の廃止が意味するもの	
第5章	官僚と知識人		導入	
		5-1	伝統中国の官僚制	
		5-2	昇進の仕組みと日常生活	
		5-3	ある知識人の生涯	
第6章	地方統治と都城制		導入	
		6-1	地方統治の仕組み	
		6-2	都城制と都市構造	
		6-3	地方都市「鎮」の出現	
第7章	民衆と信仰		導入	
		7-1	民間信仰の神々	
		7-2	碑文史料に見える神々の霊験	
		7-3	民衆の精神世界	
理解度チェック1				
第8章	周辺民族Ⅰ		導入	○学習期間 8章～12章　11月8日～12月5日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は12月5日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	中華思想と「蛮夷戎狄」	
		8-2	万里の長城と北方民族	
		8-3	「征服王朝」と「漢化」	
第9章	周辺民族Ⅱ		導入	
		9-1	遼・金と南北システム	
		9-2	モンゴル大帝国と中国支配	
第10章	周辺民族Ⅲ		導入	
		10-1	明の永楽帝と大帝国の夢	
		10-2	北虜と南倭	
第11章	周辺民族Ⅳ		導入	
		11-1	多民族国家・清朝の成立	
		11-2	清朝入関と支配体制のゆらぎ	
第12章	周辺民族Ⅴ		導入	
		12-1	最大領域の形成と清朝皇帝の性格	
		12-2	現代中国の少数民族問題	
理解度チェック2				
試験				○「試験」 最終試験は12月6日～12月12日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月13日は全章の復習期間にしてください。

経済学概論 MB 授業計画

科目名	経済学概論	単位
担当教員名	藤本　訓利	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	マクロ経済学とはどのような学問か		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月21日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	マクロ経済学をなぜ学ぶのか	
		1-2	マクロ経済のとらえ方	
		1-3	マクロ経済学における論争	
第2章	国民経済計算		導入	
		2-1	経済主体と経済循環	
		2-2	国内総生産（GDP）と付加価値	
		2-3	国内総生産（GDP），国民総生産（GNP）および国民所得（NI）	
		2-4	経済成長と物価	
		2-5	国民所得の三面等価の原則	
第3章	国民所得の決定理論：総需要アプローチ		導入	
		3-1	総供給と均衡産出量	
		3-2	消費関数	
		3-3	投資（I）	
		3-4	均衡国民所得水準の決定	
理解度チェック1				
第4章	乗数と政府部門		導入	○学習期間 4章～6章　10月22日～11月4日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月4日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	乗数と政府部門	
		4-2	政府部門の導入	
		4-3	均衡国民所得の決定	
		4-4	財政余剰と国民経済	
第5章	貨幣とマネーサプライの変化		導入	
		5-1	貨幣の機能と本質	
		5-2	マネーサプライ	
		5-3	マネーサプライの変動：通貨乗数	
第6章	貨幣需要と利子率		導入	
		6-1	貨幣の保有動機と貨幣需要関数	
		6-2	マネーサプライ（再説）	
		6-3	貨幣市場の均衡と利子率の決定	
理解度チェック2				
第7章	IS=LM分析		導入	○学習期間 7章～9章　11月5日～11月18日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は11月18日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	財市場の均衡とIS曲線	
		7-2	貨幣市場の均衡とLM曲線	
		7-3	財市場と貨幣市場の均衡	
第8章	IS=LM分析と財政・金融政策		導入	
		8-1	財政政策とクラウディング・アウト効果	
		8-2	金融政策の効果	
		8-3	ポリシー・ミックス	
第9章	開放経済モデル		導入	
		9-1	国際収支と為替相場	
		9-2	開放経済モデル	
		9-3	マンデル＝フレミング・モデル	
理解度チェック3				
第10章	物価水準と産出量		導入	○学習期間 10章～12章　11月19日～12月2日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○「理解度チェック4」 解答期限は12月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	総需要	
		10-2	総供給曲線	
		10-3	物価水準の決定	
		10-4	財政・金融政策の効果	
第11章	インフレーションと失業		導入	
		11-1	インフレーション	
		11-2	インフレ供給曲線とインフレ需要曲線	
		11-3	フィリップス曲線と総需要管理政策	
第12章	経済成長の理論		導入	
		12-1	経済成長に関するいくつかのデータ	
		12-2	経済成長理論	
		12-3	成長の源泉に関する実証研究	
		12-4	経済成長と少子高齢化・人口減少	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 最終試験は12月3日～12月9日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月10日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

国際経済論MB　メディア授業計画

科目名	国際経済論MB	単位
担当教員名	陸　亦群	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	国際取引と国際収支統計		導入	○学修期間 1章～5章　10月5日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	国際収支の定義	
		1-2	国際収支の特徴	
		1-3	国際収支表の基本構造	
		1-4	国際収支の黒字と赤字	
第2章	外国為替市場と国際金融	2-1	外国為替市場と為替レート（名目と実質）	
		2-2	為替取引の種類	
		2-3	外国為替市場の役割	
第3章	経常収支と貿易弾力性		導入	
		3-1	名目為替レートと実質為替レート	
		3-2	弾力性アプローチ	
		3-3	マーシャル・ラーナーの安定条件	
		3-4	貿易収支と為替レート（Jカーブ効果）	
第4章	国際収支と国内経済のマクロ的関連		導入	
		4-1	対外収支と貯蓄・投資バランス	
		4-2	経常収支と外国貿易乗数	
		4-3	財政赤字と経常収支	
第5章	円高日本経済と経常収支	5-1	日本国際収支の推移	
		5-2	円高不況と経常黒字	
理解度チェック1				
第6章	マクロ経済分析の基礎		導入	○学修期間 6章～8章　10月26日～11月14日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		6-1	財市場の均衡とIS曲線	
		6-2	貨幣市場の均衡とLM曲線	
		6-3	財市場と貨幣市場の均衡	
		6-4	IS=LM分析と財政金融政策	
第7章	IS-LM-BP分析	7-1	S-LM曲線と財政・金融政策	
		7-2	BP曲線の導出	
		7-3	BP曲線の傾きと資本移動の自由度	
第8章	開放経済と経済政策		導入	
		8-1	固定相場制下の財政・金融政策	
		8-2	変動相場制下の財政・金融政策	
理解度チェック2				
第9章	外国為替相場の決定メカニズム		導入	○学修期間 9章～12章　11月15日～12月6日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は12月6日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-1	外国為替の需給均衡	
		9-2	資産市場と外国為替相場	
		9-3	国内貨幣供給と外国為替相場	
		9-4	外国為替相場のオーバーシューティング	
		9-5	物価水準と外国為替相場	
第10章	為替相場の変動の実態経済に与える影響	10-1	外国為替相場の変動とその影響	
		10-2	外国為替市場への介入	
		10-3	為替レートを通じたマクロ経済政策の国際的波及	
第11章	国際通貨制度	11-1	国際通貨制度の概観（関連年表）	
		11-2	国際通貨制度の変遷	
第12章	外国為替制度の選択	12-1	変動為替制度	
		12-2	カレンシー・ボード制度	
		12-3	ドル化政策	
		12-4	通貨同盟と最適通貨圏	
		12-5	外国為替制度の選択問題	
理解度チェック3				
試験				○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

情報概論 MB 授業計画

科目名	情報概論 MB	単位
担当教員名	久東　義典	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	節名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	コンピュータの基礎		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月20日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月20日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	デジタルとアナログ	
		1-2	コンピュータの歴史	
		1-3	身の回りのコンピュータ	
		1-4	コンピュータの機能	
		1-5	パソコンの基本操作	
		1-6	練習問題	
第2章	文書作成		導入	
		2-1	キー配列	
		2-2	起動	
		2-3	入力	
		2-4	編集	
		2-5	印刷	
		2-6	保存	
		2-7	練習問題	
第3章	ファイルとフォルダ		導入	
		3-1	ファイル	
		3-2	フォルダ	
		3-3	ディレクトリの操作	
		3-4	ドライブ	
		3-5	練習問題	
理解度チェック1				
第4章	プレゼンテーション資料作成		導入	○学習期間 4章～6章　10月21日～11月3日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	アウトライン作成	
		4-2	図形描画	
		4-3	練習問題	
第5章	インターネット利用		導入	
		5-1	ホームページ検索	
		5-2	Web2．0	
		5-3	クラウドコンピューティング	
		5-4	メール利用の注意	
		5-5	法律	
		5-6	練習問題	
第6章	IT機器の現状		導入	
		6-1	第3.5世代携帯電話	
		6-2	通信	
		6-3	放送	
		6-4	ハードウェア	
		6-5	ソフトウェア	
		6-6	練習問題	
理解度チェック2				
第7章	データ通信技術		導入	○学習期間 7章～9章　11月4日～11月17日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は11月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	有線接続	
		7-2	無線通信手段	
		7-3	練習問題	
第8章	ネットワーク		導入	
		8-1	コンピュータネットワーク	
		8-2	インターネット	
		8-3	ネットワークの形態	
		8-4	ネットワークの構成	
		8-5	ネットワークセキュリティ	
		8-6	練習問題	
第9章	インターネット技術		導入	
		9-1	プロトコル	
		9-2	IPアドレスとドメイン名	
		9-3	インターネット情報の流れ	
		9-4	HTML	
		9-5	XML	
		9-6	練習問題	
理解度チェック3				
第10章	ビジネスにおけるインターネット利用		導入	○学習期間 10章～12章　11月18日～12月1日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○「理解度チェック4」 解答期限は12月1日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	電子商取引	
		10-2	電子商取引情報の標準化	
		10-3	電子マネー	
		10-4	顧客管理	
		10-5	個人情報保護	
		10-6	練習問題	
第11章	暗号化		導入	
		11-1	古典的暗号	
		11-2	最近の暗号	
		11-3	共通鍵と公開鍵	
		11-4	SSLによるweb認証	
		11-5	練習問題	
第12章	セキュリティ		導入	
		12-1	事故	
		12-2	ウィルス	
		12-3	サーバに対する攻撃	
		12-4	パスワード窃盗	
		12-5	利用上の注意点	
		12-6	システムの安全性評価	
		12-7	練習問題	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 最終試験は12月2日～12月8日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月9日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

商学総論 MB 授業計画

科目名	商学総論 MB	単位
担当教員名	佐藤　　稔	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	流通機構		（導入）教員紹介	○学習期間 1章～4章　10月5日～10月24日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月24日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	流通機構とは	
		1-2	収集機構	
		1-3	分散機構	
		1-4	組織的市場	
第2章	卸売市場		（導入）	
		2-1	卸売市場とは	
		2-2	中央卸売市場法の成立過程	
		2-3	卸売市場法の制定	
		2-4	卸売市場法の目的	
		2-5	卸売市場法の対象	
		2-6	卸売市場の区分	
		2-7	中央卸売市場の取引機関	
		2-8	中央卸売市場の取引方法	
第3章	商品取引所		（導入）	
		3-1	商品取引所とは	
		3-2	商品取引所の沿革	
		3-3	商品取引所の職能	
		3-4	商品取引所の法人格と組織	
		3-5	商品取引所の業務	
		3-6	商品取引所の商品・商品指数・上場商品	
第4章	証券取引所		（導入）	
		4-1	証券取引所の意義	
		4-2	証券取引所の沿革	
		4-3	証券取引所の機能	
		4-4	有価証券上場制度	
		4-5	売買取引制度	
理解度チェック1				
第5章	商社		（導入）	○学習期間 5章～8章　10月25日～11月7日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月7日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	商社の概念	
		5-2	商社の分類	
		5-3	総合商社とは	
		5-4	総合商社の機能	
		5-5	総合商社の歴史	
第6章	卸売商業		（導入）	
		6-1	卸売業とは	
		6-2	問屋	
		6-3	卸売商業の機能	
		6-4	卸売商業の形態	
		6-5	卸売商業の構造	
第7章	小売商業		（導入）	
		7-1	小売業の意味と分類	
		7-2	小売業の構造	
第8章	小売商業の商圏設計		（導入）	
		8-1	商圏設定の意義	
		8-2	商圏設定の方法	
理解度チェック2				
第9章	小売商業形態		（導入）	○学習期間 9章～10章　11月8日～11月21日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は11月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-1	百貨店	
		9-2	スーパーマーケット	
		9-3	ディスカウント・ストア	
		9-4	クレジット販売店	
		9-5	コンビニエンス・ストア	
		9-6	ホームセンター	
		9-7	専門店	
		9-8	無店舗販売	
		9-9	行商・露天・万屋	
第10章	小売商業の共同化・協業化		（導入）	
		10-1	ショッピング・センター	
		10-2	商店街	
		10-3	寄り合い百貨店・寄合いスーパー	
		10-4	小売市場	
		10-5	消費生活協同組合	
理解度チェック3				
第11章	小売商業のチェーン化		（導入）	○学習期間 11章～12章　11月22日～12月5日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○「理解度チェック4」 解答期限は12月5日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	チェーンストア	
		11-2	ボランタリー・チェーン	
		11-3	フランチャイズ・チェーン	
第12章	金融・保管・輸送・保険		（導入）	
		12-1	金融	
		12-2	保管	
		12-3	輸送	
		12-4	保険	
理解度チェック4				
	試験			○「試験」 最終試験は12月6日～12月12日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
	復習期間			試験終了後の12月13日は全章の復習期間にしてください。

経営学MB　メディア授業計画

科目名	経営学MB	単位
担当教員名	松本　芳男	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	経営戦略と組織		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月21日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	経営戦略の意味と体系	
		1-2	経営戦略と組織の関係	
			自己点検	
第2章	マーケティング		導入	
		2-1	マーケティングの基本機能	
		2-2	製品戦略	
		2-3	価格戦略	
		2-4	販売促進戦略	
		2-5	流通チャネル戦略	
			自己点検	
第3章	生産システムの進化		導入	
		3-1	生産管理の基本	
		3-2	テイラー・システムとフォード・システム	
		3-3	トヨタ・システムとボルボ・システム	
		3-4	セル生産方式とモジュール生産システム	
			自己点検	
	理解度チェック1			
第4章	人的資源管理		導入	○学習期間 4章～6章　10月22日～11月4日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月4日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	雇用管理	
		4-2	人事制度	
		4-3	労働時間管理	
			自己点検	
第5章	動機づけとリーダーシップの理論		導入	
		5-1	動機づけの理論	
		5-2	リーダーシップの理論	
			自己点検	
第6章	財務管理		導入	
		6-1	資本の調達と運用	
		6-2	財務分析	
			自己点検	
	理解度チェック2			
第7章	日本型経営システムの特徴と変容		導入	○学習期間 7章～9章　11月5日～11月18日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は11月18日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	日本型経営システムの成立と価値前提	
		7-2	日本型経営システムの特徴と変容	
			自己点検	
第8章	中小企業とベンチャー企業		導入	
		8-1	中小企業の経営	
		8-2	ベンチャー企業の経営	
			自己点検	
第9章	経営の国際化とグローバリゼーション		導入	
		9-1	企業経営の国際化	
		9-2	異文化経営	
			自己点検	
	理解度チェック3			
第10章	M＆A		導入	○学習期間 10章～12章　11月19日～12月2日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○「理解度チェック4」 解答期限は12月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	M&Aの意義と現状	
		10-2	M&Aの目的と課題	
			自己点検	
第11章	社会的責任		導入	
		11-1	企業の社会的責任	
		11-2	コンプライアンス経営と企業倫理	
		11-3	環境経営	
			自己点検	
第12章	企業評価		導入	
		12-1	企業評価の考え方:「良い企業とは何か」	
		12-2	「優良企業」を評価するモデル	
		12-3	「経営改革」のための評価モデル	
		12-4	従業員の観点からの企業評価	
		12-5	消費者・社会の観点からの企業評価	
			自己点検	
	理解度チェック4			
試　験				○「試験」 最終試験は12月3日～12月9日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月10日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

簿記論Ⅰ MB 授業計画

科目名	簿記論Ⅰ MB	開講単位数
担当教員名	村井　秀樹	2単位

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，13章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	簿記の概要		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月20日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月20日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	必要性	
		1-2	生成・発展	
		1-3	種類	
第2章	当座預金取引・有価証券取引		導入	
		2-1	現金過不足	
		2-2	当座借越	
		2-3	小口現金	
		2-4	銀行勘定調整表	
		2-5	有価証券の分類と評価	
		2-6	有価証券の売買	
		2-7	有価証券の総平均法	
		2-8	債券の端数利息	
		2-9	有価証券の賃借・差入・預り・保管	
		2-10	自己点検	
第3章	債権・債務取引と引当金の処理		導入	
		3-1	債務保証	
		3-2	未決算勘定	
		3-3	貸倒引当金	
		3-4	商品（製品）保証引当金	
		3-5	修繕引当金	
		3-6	退職給付引当金	
		3-7	自己点検	
理解度チェック1				
第4章	手形取引		導入	○学習期間 4章～6章　10月21日～11月3日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	手形の裏書譲渡・割引	
		4-2	手形の偶発債務	
		4-3	手形の不渡り	
		4-4	手形の更改	
		4-5	荷為替手形	
第5章	商品売買取引		導入	
		5-1	商品の割引・割戻し	
		5-2	商品の棚卸減耗・評価損	
		5-3	商品有高帳①	
		5-4	商品有高帳②(後入先出法)	
第6章	特殊商品売買取引		導入	
		6-1	未着品売買	
		6-2	委託売買	
		6-3	受託売買	
		6-4	割賦販売	
		6-5	試用販売	
		6-6	予約販売	
理解度チェック2				
第7章	固定資産・繰延資産		導入	○学習期間 7章～9章　11月4日～11月17日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は11月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	有形固定資産の購入	
		7-2	減価償却	
		7-3	有形固定資産の売却・除却	
		7-4	無形固定資産	
		7-5	投資その他の資産	
		7-6	繰延資産の計上と償却	
第8章	株式会社取引（1）		導入	
		8-1	株式会社の純資産（資本）（設立・増資・減資）	
		8-2	創立費・開業費・株式交付費	
		8-3	剰余金（法定準備金・任意積立金と繰越利益剰余金・株主資本等変動計算書）	
		8-4	会社の合併	
第9章	株式会社取引（2）	9-1	社債（発行・利払・償還）	
		9-2	税金（法人税・事業税・消費税）	
理解度チェック3				
第10章	本支店会計（1）		導入	○学習期間 10章～13章　11月18日～12月1日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○「理解度チェック4」 解答期限は12月1日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	本支店間取引	
		10-2	未達事項整理	
第11章	本支店会計（2）	11-1	内部利益の除去	
		11-2	本支店合併財務諸諸表	
第12章	伝票		導入	
		12-1	伝票の意味と種類	
		12-2	仕訳伝票	
		12-3	三伝票制	
		12-4	伝票の集計	
第13章	決算		導入	
		13-1	決算整理・精算表	
		13-2	決算集合勘定	
		13-3	損益計算書と貸借対照表	
理解度チェック4				
試　験				○「試験」 最終試験は12月2日～12月8日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月9日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

貿易論MB　メディア授業計画

科目名	貿易論	単位
担当教員名	飯野　文	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパートに分かれており，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	世界貿易の動向と国際貿易体制		導入（はじめに）	○学習期間 1章～3章　10月５日～10月21日までに学習し，理解度チェック1を期間内で受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	データで見る財・サービス貿易の動向	
		1-2	国際貿易体制の成立と展開	
			自己点検	
第2章	世界貿易機構（WTO）と貿易政策の諸手段① －世界貿易機構（WTO）の全体像－		導入（はじめに）	
		2-1	世界貿易機構（WTO）の全体	
		2-2	WTO協定の構造	
		2-3	WTOの組織	
			自己点検	
第3章	世界貿易機構（WTO）と貿易政策の諸手段② －関税と輸出入政策－	3-1	様々な関税	
		3-2	様々な輸出入政策	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	GATT－WTOの基本原則①－無差別原則－		導入（はじめに）	○学習期間 4章～6章　10月22日～11月4日までに学習し，理解度チェック2を期間内で受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月4日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	最恵国待遇原則	
		4-2	様々な輸出入政策	
			自己点検	
第5章	GATT－WTOの基本原則②	5-1	関税引き下げの原則と数量制限の一般的廃止	
		5-2	関税引き下げの原則	
		5-3	数量制限の一般的廃止	
		5-4	一般的例外条項	
		5-5	貿易と環境	
			自己点検	
第6章	国内規制への対応		導入（はじめに）	
		6-1	衛生植物検疫措置	
		6-2	貿易の技術的障害	
			自己点検	
理解度チェック2				
第7章	貿易自由化と貿易救済措置①		導入（はじめに）	○学習期間 7章～9章　11月5日～11月18日までに学習し，理解度チェック3を期間内で受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は11月18日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	セーフガード措置	
		7-2	アンチ・ダンピング措置	
			自己点検	
第8章	貿易自由化と貿易救済措置②	8-1	補助金・相殺措置	
		8-2	貿易救済措置と不公正貿易	
			自己点検	
第9章	WTO体制下における規律分野の拡大		導入（はじめに）	
		9-1	農産品貿易の自由化	
		9-2	サービス貿易	
			自己点検	
理解度チェック3				
第10章	地域経済統合① －地域経済統合の動向－		導入（はじめに）	○学習期間 10章～12章　11月19日～12月2日までに学習し，理解度チェック4を期間内で受けてください。 ○「理解度チェック4」 解答期限は12月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	地域経済統合の世界的動向	
		10-2	地域経済統合の分類	
		10-3	地域経済統合を締結する背景	
		10-4	日本の地域経済統合	
			自己点検	
第11章	地域経済統合② －地域経済統合とWTO協定との関係－（原産地規則）	11-1	WTO協定上の地域経済統合の位置づけ	
		11-2	例外条件	
		11-3	FTA/関税同盟の審査	
		11-4	原産地規則の意義	
		11-5	原産地規則の現状	
		11-6	「原産地規則に関する協定」の概要	
			自己点検	
第12章	貿易・投資紛争処理制度		導入（はじめに）	
		12-1	貿易紛争の処理制度	
		12-2	国際投資紛争の処理制度	
			自己点検	
理解度チェック4				
試　　験				○「試験」 最終試験は12月3日～12月9日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月10日～12月13日の間は全章の復習期間にしてください。

現代教職論M　授業計画

科目名	現代教職論 M	単位
担当教員名	古賀　徹	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば，何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	教師に求められる資質・能力とは何か		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月24日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月24日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	教員免許（資格）の取得	
		1-2	教師に求められる能力	
		1-3	教師の成長過程	
			自己点検	
第2章	教師の仕事―教科指導・生活指導・学級経営―		導入	
		2-1	校務分掌	
		2-2	指導の2本柱（教科指導・生活指導）	
		2-3	学級指導・学級経営	
			自己点検	
第3章	子ども（生徒）とのかかわり―生徒理解の方法，わかる授業，授業の前提条件―		導入	
		3-1	様々な学習形態	
		3-2	生徒理解の方法―他者を理解する・他者のいうことを理解する―	
		3-3	「わかりかた」―知識（情報）と感覚という「わかりかた」	
		3-4	授業の前提条件―コミュニケーションの重要性―	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	様々な集団への対応①―集団の活動を通じて学んでいく生徒たち		導入	○学習期間 4章～7章　10月25日～11月7日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月7日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	集団へのかかわり方	
		4-2	授業における集団指導の難しさ	
		4-3	教育改革の構想と「総合的な学習の時間」	
			自己点検	
第5章	様々な集団への対応②―集団指導・グループ学習の方法論	5-1	学習の場としての集団形成（1）	
		5-2	学習の場としての集団形成（2）	
		5-3	学習の場としての集団形成（3）	
			自己点検	
第6章	最近の子ども事情①（非行・いじめ・ストレス）		導入	
		6-1	非行の状況，様態，原因	
		6-2	問題行動の背景要因	
		6-3	いじめの実態	
		6-4	いじめをどうみる？　どうする？	
			自己点検	
第7章	最近の子ども事情②（不登校への対応）	7-1	不登校という問題	
		7-2	不登校の児童・生徒数	
		7-3	不登校児童のタイプ	
		7-4	不登校への対応策	
		7-5	不登校への対応の考え方	
		7-6	―地域の不登校の調査結果	
			自己点検	
理解度チェック2				
第8章	教員養成の歴史①		導入	○学習期間 8章～10章　11月8日～11月21日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○「理解度チェック3」 解答期限は11月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	3つの教育改革	
		8-2	近代教育創設期	
		8-3	学制期	
		8-4	明治10年代における変革	
		8-5	ここまでの流れとまとめ	
			自己点検	
第9章	教員養成の歴史②	9-1	歴史的変遷	
		9-2	戦時体制化	
		9-3	戦後教育	
		9-4	まとめ	
			自己点検	
第10章	世界の教員養成		導入	
		10-1	米国の教育の特色	
		10-2	英国の教育の特色	
		10-3	まとめ	
			自己点検	
理解度チェック3				
第11章	教員に関する法令―地位，身分，研修，免許更新制―		導入	○学習期間 11章～12章　11月22日～12月5日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○「理解度チェック4」 解答期限は12月5日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	教員に関する法令	
		11-2	教員研修	
		11-3	教員免許更新制	
		11-4	教員養成機関に求められるもの	
		11-5	信頼できる教員の養成	
			自己点検	
第12章	教室に立つために―教育実習と学習指導案の構成		導入	
		12-1	教育実習　―教職課程の最終関門	
		12-2	授業のつくりかた　―学習指導案の構成	
		12-3	おわりに	
			自己点検	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 最終試験は12月6日～12月12日までが，出題および解答期間となっています。これを過ぎると解答ができなくなります。
復習期間				試験終了後の12月13日は全章の復習期間にしてください。

教育原論／教育の思想M　メディア授業計画

科目名	教育原論／教育の思想	単位
担当教員名	関川悦雄	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば，何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	なぜ教育思想を学ぶのか		導入	○学修期間 1章～3章　10月5日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	授業の課題と構成	
		1-2	近代教育の発展と限界	
		1-3	近代教育のパラドックス	
			自己点検	
第2章	コメニウスの教授学 ―一斉教授の方法―		導入	
		2-1	コメニウスへの遡及	
		2-2	コメニウス	
		2-3	自然的方法に立つ一斉教授	
		2-4	コメニウスの評価と限界	
			自己点検	
第3章	ロック自律論 ―人間の理性による自律―		導入	
		3-1	対立する人間観	
		3-2	人間の「理性」と「自律」	
		3-3	家庭教育論	
		3-4	近代教育思想の原型	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	ルソーの市民教育 ―子どもの発見―		導入	○学修期間 4章～7章　10月26日～11月14日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	子どもの人権	
		4-2	ルソー	
		4-3	自然人の教育	
		4-4	特色・影響	
			自己点検	
第5章	ペスタロッチの人間教育 ー直観教授の確立ー		導入	
		5-1	人間教育	
		5-2	教育思想	
		5-3	教育史上の意義と影響	
			自己点検	
第6章	ヘルバルトの科学的教育学 ー教授過程の定型化ー		導入	
		6-1	ヘルバルトの課題	
		6-2	全体の見取図ー科学的教育学	
		6-3	評価・影響	
			自己点検	
第7章	フレーベルの幼児教育 ー幼稚園の創設ー		導入	
		7-1	今日の幼稚園	
		7-2	フレーベル	
		7-3	フレーベル幼稚園の普及・評価	
			自己点検	
理解度チェック2				
第8章	マンの公教育普及論 ―教育を受ける権利思想―		導入	○学修期間 8章～12章　11月15日～12月6日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は12月6日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	自然権思想とコモン・スクール	
		8-2	公教育の有用性と功利性	
		8-3	愛による教育	
		8-4	公教育思想の再検討	
			自己点検	
第9章	デューイの新教育思想 ―児童中心の教育―		導入	
		9-1	新教育運動の起源	
		9-2	児童中心の教育思想	
		9-3	新教育運動の継承と発展	
			自己点検	
第10章	ニイルの自由主義教育論 ―フリー・スクールの創設者―		導入	
		10-1	ニイルの遍歴と思想形成	
		10-2	サマーヒルの挑戦	
		10-3	フリー・スクール運動の世界的な影響	
			自己点検	
第11章	ブーバーの教育的出会い ―教師と子どもとの関係―		導入	
		11-1	教師論	
		11-2	教育的出会いの特徴	
		11-3	教育的出会いの展開	
		11-4	まとめ	
			自己点検	
第12章	イリイチの脱学校論 ―自由な学習機会の保障―		導入	
		12-1	イリイチの思想形成	
		12-2	「隠されたカリキュラム」への批判	
		12-3	脱学校論	
			自己点検	
理解度チェック3				
試験				○「試験」 最終試験は１２月７日～１２月１３日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

教育制度論M　メディア授業計画

科目名	教育制度論	単位
担当教員名	北野　秋男	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙		「教育制度論」のねらいと課題	○本講座は3つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば，何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	教育制度の理念と構造		導入	○学修期間 1章～5章　10月5日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	我が国の経済成長と教育制度	
		1-2	「臨教審」の教育改革論理	
		1-3	教育制度のパラダイム転換	
			自己点検	
第2章	学校の制度と組織		導入	
		2-1	就学義務と就学義務違反	
		2-2	通学区域制度と学校の統廃合	
		2-3	学校制度改革の問題点	
			自己点検	
第3章	教室内の制度と組織		導入	
		3-1	学級編成と教員問題	
		3-2	学校内・学級内の諸制度	
		3-3	我が国の学校文化の課題	
			自己点検	
第4章	学校歴偏重から生涯学習への移行		導入	
		4-1	教育構造と産業構造の変化	
		4-2	資格と職業選択	
		4-3	生涯学習社会への移行	
			自己点検	
第5章	私立学校の制度と組織		導入	
		5-1	私立学校とは	
		5-2	私立学校教育の特色	
		5-3	「私学志向」の社会的背景	
			自己点検	
理解度チェック1				
第6章	戦後日本の公教育政策・制度		導入	○学修期間 6章～9章　10月26日～11月14日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		6-1	戦後の教育改革	
		6-2	経済界からの教育要求と中央教育審議会答申	
			自己点検	
第7章	日本の中央・地方教育行政		導入	
		7-1	文部科学省の組織と役割	
		7-2	教育委員会の組織と役割	
		7-3	都道府県・市町村教育委員会の権限	
			自己点検	
第8章	アメリカの教育制度		導入	
		8-1	アメリカの教育制度の特色	
		8-2	アメリカの学校選択制度	
		8-3	チャーター・スクール運動の登場	
			自己点検	
第9章	アジアの教育制度		導入	
		9-1	中国の教育制度と教育改革	
		9-2	韓国の教育制度と教育改革	
		9-3	東南アジアにおける識字教育	
			自己点検	
理解度チェック2				
第10章	ジェンダー問題と女子教育		導入	○学修期間 10章～12章　11月15日～12月6日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は12月6日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	学校文化とジェンダー	
		10-2	男女共同参画社会の実現に向けて	
			自己点検	
第11章	教育情報と情報公開制度		導入	
		11-1	教育問題と情報公開制度	
		11-2	教育情報とは何か	
		11-3	学校の教育情報の公開	
			11章自己点検	
第12章	我が国の教育制度改革の動向		導入	
		12-1	教委制度の理念と構造	
		12-2	「教育改革国民会議」の提言	
		12-3	わが国の教育制度改革の動向	
			12章自己点検	
理解度チェック3				
試　験				○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

特別活動の研究M　メディア授業計画

科目名	特別活動の研究	単位
担当教員名	関川　悦雄　教授	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙 講義用ディスカッションボード			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば，何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	「特別活動の研究」はどんな科目か，またどうして　それを学ぶのか		導入	○学習期間 1章～4章　10月5日～10月20日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月20日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	特別活動の研究はどんな科目か	
		1-2	どうして「特別活動の研究」を学ぶのか	
			自己点検	
第2章	教育課程と課外活動（特別活動）の関係		導入	
		2-1	教育課程は何を意味するのか	
		2-2	教育課程はどの領域までを含むか	
		2-3	課外活動の教育的価値とは何か	
			自己点検	
第3章	教育的価値として認められた課外活動の実例（1）　-遠足と運動会-		導入	
		3-1	遠足	
		3-2	運動会	
			自己点検	
第4章	教育的価値として認められた課外活動の実例（2）　-学芸会と相談会-		導入	
		4-1	学芸会	
		4-2	相談会	
		4-3	まとめ	
			自己点検	
理解度チェック1				
第5章	課外活動（特別活動）の教育課程化とその条件		導入	○学習期間 5章～7章　10月21日～11月3日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	課外活動の教育課程化	
		5-2	教育課程化の条件	
			自己点検	
第6章	自由研究の新設と特別教育活動への移行		導入	
		6-1	教科課程はどのようにして決まるか	
		6-2	自由研究の新設と性格	
		6-3	自由研究の意義と問題点	
		6-4	特別教育活動への移行	
			自己点検	
第7章	特別活動の成立とその後の歩み		導入	
		7-1	特別活動の成立とその趣旨・理由	
		7-2	課外活動の教育課程化―特別活動の歩み	
			自己点検	
理解度チェック2				
第8章	2008年の学習指導要領の改訂		導入	○学習期間 8章～10章　11月4日～11月17日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	学習指導要領2008年改訂	
		8-2	改訂の基本方針	
			自己点検	
第9章	特別活動の改訂と目標		導入	
		9-1	特別活動の改訂	
		9-2	特別活動の目標	
			自己点検	
第10章	学級活動の目標・内容・内容の取扱い		導入	
		10-1	学級活動の目標	
		10-2	学級活動の内容	
		10-3	内容の取扱い	
			自己点検	
理解度チェック3				
第11章	生徒会活動の目標・内容・内容の取扱い		導入	○学習期間 11章～12章　11月18日～12月1日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月1日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	生徒会活動の目標	
		11-2	生徒会活動の内容	
		11-3	内容の取扱い	
			自己点検	
第12章	学校行事の目標・内容・内容の取扱い		導入	
		12-1	学校行事の目標	
		12-2	学校行事の内容	
		12-3	内容の取扱い	
			自己点検	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 最終試験は１２月２日～１２月８日までが，出題及び提出解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月9日～12月13日は全章の復習期間にしてください。

教育の方法・技術論 M 授業計画

科目名	教育の方法・技術論 M	単位
担当教員名	壽福　隆人	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので，各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴（復習）はメディア授業開講期間内であれば，何度でも可能ですが，理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	教育方法学とはどんな学問か		導入	○学習期間 1章～3章　10月5日～10月21日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は10月21日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	教育方法学	
		1-2	教育方法学の歴史	
		1-3	言語主義批判の系譜	
		1-4	デューイ と問題解決学習	
		1-5	ブルーナー と系統学習・構造化論	
		1-6	自己点検	
第2章	わが国の教育方法学研究の歴史		導入	
		2-1	ペスタロッチ主義の紹介	
		2-2	ヘルバルト派教授法の導入	
		2-3	大正期の自由主義的教育方法の展開	
		2-4	ファシズムから戦後の改革へ	
		2-5	自己点検	
第3章	学校教育とカリキュラム		導入	
		3-1	カリキュラムとは何か	
		3-2	教科内容の編成（「リベラル・アーツ」と「一般教育」）	
		3-3	現代のカリキュラムの類型	
		3-4	学習指導要領とカリキュラム	
		3-5	自己点検	
理解度チェック1				
第4章	授業の形態と集団の編成・指導		導入	○学習期間 4章～6章　10月22日～11月4日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は11月4日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	授業形態の変遷	
		4-2	ドルトン・プラン	
		4-3	ウイネッカ・プラン	
		4-4	イエナ・プラン	
		4-5	自己点検	
第5章	授業形態の多様化		導入	
		5-1	バズ学習	
		5-2	完全習得学習	
		5-3	オープン・エデュケーション	
		5-4	チーム・ティーチング	
		5-5	自己点検	
第6章	学級編成と学級経営		導入	
		6-1	学級の成立と普及	
		6-2	近代学校における学級の成立	
		6-3	学級経営の進め方	
		6-4	学習・生活指導の場としての学級経営	
		6-5	自己点検	
理解度チェック2				
第7章	小集団指導		導入	○学習期間 7章～9章　11月5日～11月18日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は11月18日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	小集団指導	
		7-2	小集団の編成方法	
		7-3	個人差に応ずる指導	
		7-4	自己点検	
第8章	教育の技術とはなにか		導入	
		8-1	教材研究と学習指導案の作成	
		8-2	学習課題の設定と授業の準備	
		8-3	教材研究	
		8-4	学習指導案の作成	
		8-5	自己点検	
第9章	授業の展開		導入	
		9-1	導入の工夫と発問の方法	
		9-2	学習反応の処理	
		9-3	授業をつくるために理解しておきたい教育の基本構造	
		9-4	自己点検	
理解度チェック3				
第10章	授業の展開を豊かにする物的手段		導入	○学習期間 10章～12章　11月19日～12月2日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。 ○理解度チェック4 解答期限は12月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	古典的教具	
		10-2	視聴覚教育機器の種類とその利用	
		10-3	ニューメディア	
		10-4	「教育工学」の考え方	
		10-5	自己点検	
第11章	教育評価		導入	
		11-1	教育評価の目的と構成要素	
		11-2	教育評価の歴史的展開	
		11-3	現代の教育評価	
		11-4	自己点検	
第12章	評価の方法		導入	
		12-1	評価法の分類	
		12-2	評価の記録	
		12-3	指導要録と通知表	
		12-4	評価の心理的影響	
		12-5	自己点検	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 最終試験は１２月３日～１２月９日までが，出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
復習期間				試験終了後の12月10日～12月13日は全章の復習期間にしてください。

国文学演習 MA 授業計画

科目名	国文学演習　ＭＡ
開講単位数	１単位
担当教員名	近藤　健史

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			
第1章	はじめに		教員紹介	10／5～12／13 ※討論に入る前に受講してください
		1－1	授業のねらいと構成	
第2章	国文学演習入門		(導入)国文学演習入門	
		2－1	基本的手順について	
		2－2	発表の仕方と心得	
		2－3	レジュメの形式について	
		2－4	資料の探し方（万葉集）	
第3章	万葉集入門		(導入)万葉集入門	
		3－1	万葉集の成立と環境	
		3－2	万葉集の名義	
		3－3	時代区分と主な歌人	
		3－4	万葉集の歌の読み方	
		3－5	基本的な参考文献	
第4章	説話歌入門		(導入)説話歌入門	
		4－1	説話歌の概念と歌数	
		4－2	万葉人の結婚について	
第5章	テーマ1 「妻争伝説歌」ではなぜ結婚を拒否するのかについて		教員による課題提示	※発表は10/13迄 全体討論は10/14～10/20
			発表・全体討論	
第6章	テーマ2 「説話歌の女性は美女か」について		教員による課題提示	※発表は10/20迄 全体討論は10/21～10/27
			発表・全体討論	
第7章	テーマ3 「虫麻呂に歌われた女性像」について		教員による課題提示	※発表は10/27迄 全体討論は10/28～11/3
			発表・全体討論	
第8章	テーマ4 「水江浦島児の歌」における「愚人」の意味について		教員による課題提示	※発表は11/3迄 全体討論は11/4～11/10
			発表・全体討論	
第9章	テーマ5 「真間手児奈伝説歌」における「身をたな知りて」の意味について		教員による課題提示	※発表は11/10迄 全体討論は11/11～11/17
			発表・全体討論	
第10章	テーマ6　説話歌の成立基盤と系譜について (ア)「菟原処女伝説歌」から森鴎外「生田川」へ		教員による課題提示	※発表は11/17迄 全体討論は11/18～11/24
			全体討論	
第11章	テーマ7　説話歌の成立基盤と系譜について (イ)「竹取翁歌」から「竹取物語」へ		教員による課題提示	※発表は11/24迄 全体討論は11/25～12/1
			全体討論	
第12章	テーマ8　説話歌の成立基盤と系譜について (ウ)「水江浦島児の歌」から「浦島物語」へ		教員による課題提示	※発表は12/1迄 全体討論は12/2～12/8
			全体討論	
リポート試験				提出期間：12/9～12/13

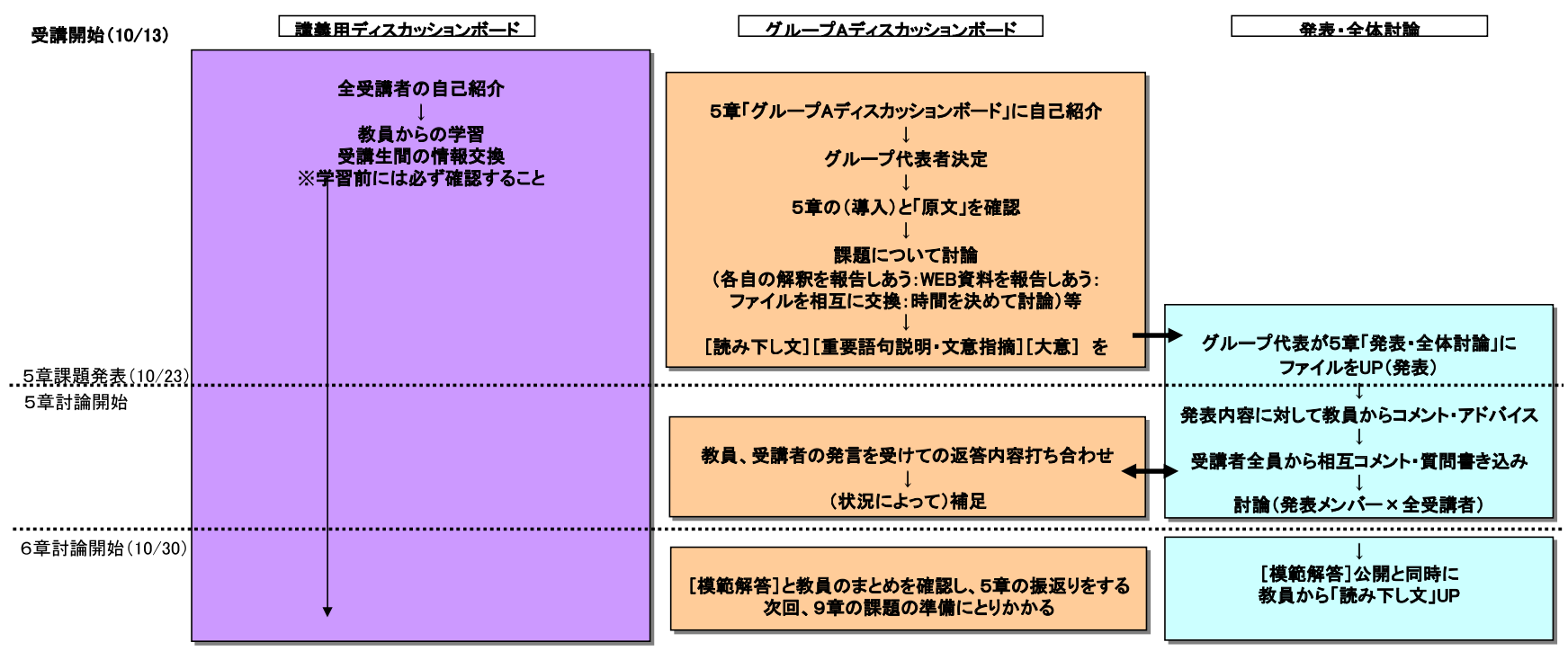
日本史演習 MA 授業計画

科目名	日本史演習　ＭＡ
開講単位数	１単位
担当教員名	鍋本　由徳

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			
	講義用ディスカッションボード			
	グループディスカッションボード			
第1章	はじめに		(導入)教員紹介	本講座の，受講期間は10月5日の開講日から12月13日までとなっています。 そのうち1～4章は[基礎編]として期間中ずっと公開しています。 5～12章[演習編]の各章の(導入)も、それぞれテキストの「原文」とその解説として期間中全て公開しています。 各章の「発表、全体討論」は課題発表がされた次の日から、教員・受講生　共にコメントを書き込むのに使用します。「読み下しの模範」は、各章の一週間の討論終了後に公開します。
			(導入)近世文書を読むための基礎知識	
		1-1	授業のねらいと構成	
		1-2	近世文書読解のための基礎知識(1)	
		1-3	近世文書読解のための基礎知識(2)	
		1-4	第1章　自己点検	
第2章	『民間省要』と田中丘隅		(導入)『民間省要』の著者、田中丘隅	
		2-1	テキスト『民間省要』解題	
		2-2	著者田中丘隅について(1)	
		2-3	著者田中丘隅について(2)	
		2-4	第2章　自己点検	
第3章	元禄～享保期の社会		(導入)元禄～享保期	
		3-1	享保改革開始時の幕府政治の動向	
		3-2	享保期の経済と流通	
		3-3	農村構造の変容	
		3-4	第3章　自己点検	
第4章	教員によるテキスト読解		(導入)課題報告の際の注意事項	
		4-1	第一「地方の事」	
第5章	テキストを読む(1) (災害記事・「色取検見」に留意しつつ)		(導入)「検見」	全期間中公開
			全体討論	※Aグループ　10/15迄に発表 10/16から全体討論開始
			第5章読み下しの模範	10/22公開
第6章	テキストを読む(2) (年貢米上納の手続と農民負担に留意しつつ)		(導入)年貢米の納入	全期間中公開
			全体討論	※Bグループ　10/22迄に発表 10/23から全体討論開始
			第6章読み下しの模範	10/29公開
第7章	テキストを読む(3) (収穫までの手間・費用と田地質入値段に留意しつつ)		(導入)田地売買	全期間中公開
			発表・全体討論	※Cグループ　10/29迄に発表 10/30から全体討論開始
			第7章読み下しの模範	11/5公開
第8章	テキストを読む(4) (収穫までの手間・費用に留意しつつ)		(導入)肥料や生産用具	全期間中公開
			発表・全体討論	※Dグループ　11/5迄に発表 11/6から全体討論開始
			第8章読み下しの模範	11/12公開
第9章	テキストを読む(5) (「検見」、江戸時代の貨幣制度に留意しつつ)		(導入)検見の手順	全期間中公開
			発表・全体討論	※Aグループ　11/12迄に発表 11/13から全体討論開始
			第9章読み下しの模範	11/19公開
第10章	テキストを読む(6) (農作業のサイクル、「金納」・「小物成」に留意しつつ)		(導入)年貢早納、小物成	全期間中公開
			発表・全体討論	※Bグループ　11/19迄に発表 11/20から全体討論開始
			第10章読み下しの模範	11/26公開
第11章	テキストを読む(7) (「定免制」に留意しつつ)		(導入)定免制	全期間中公開
			発表・全体討論	※Cグループ　11/26迄に発表 11/27から全体討論開始
			第11章読み下しの模範	12/3公開
第12章	テキストを読む(8) (地主-小作関係の生成と展開に留意しつつ)		(導入)小作 発表・全体討論	全期間中公開 ※Dグループ：発表は12/3迄 12/4から討論開始
			第12章読み下しの模範	12/10公開

※12/11～13は復習期間です。教員の総括を確認してください。

演習受講イメージ （例：Aグループ）



※以降B、Cグループも同様に発表・討論を繰り返します